大和インベストメントコンファレンス

東京2016

プレゼンテーション資料

2016年 2月

株式会社 協和エクシオ
URL http://www.exeo.co.jp

目次

1. 会社紹介 ・・・ 2
（1）会社概要 ・・・ 3
（2）社長プロフィール ・・・ 4
（3）沿革 ・・・ 5
（4）事業概要 ・・・ 6
（5）当社の強み ・・・ 11
（6）株主の状況等 ・・・ 12
（7）ガバナンス体制 ・・・ 13

2. 株主価値の向上 ・・・ 14
（1）株主還元 ・・・ 15

3. 業績概況 ・・・ 16
（1）中期経営計画 ・・・ 17
（2）2020年のイメージ ・・・ 18
（3）2015年度第3四半期実績
および通期計画 ・・・ 20
（4）受注高・売上高 ・・・ 21
（5）営業利益 ・・・ 22
（6）キャッシュフロー ・・・ 25
（7）生産性の向上 ・・・ 26

4. セグメント別の状況 ・・・ 28
（1）主要通信キャリアN設備投資動向 ・・・ 29
（2）NTTグループ（アクセス・ネットワーク） ・・・ 30
（3）NTTグループ（モバイル） ・・・ 31
（4）マルチキャリア ・・・ 32
（5）環境・社会インフラ ・・・ 33
（6）システムソリューション ・・・ 34

補足資料 ・・・ 42

1．　会社紹介

（1）会社概要
（2）社長プロフィール
（3）沿革
（4）事業概要
（5）当社の強み
（6）株主の状況等
（7）ガバナンス体制

1. 会社紹介

(1) 会社概要 (2016年1月1日現在)

創　立	1954(昭和29)年5月17日
資 本 金	68億88百万円
株　式	東証一部上場(コード 1951) 売買単位 100株 発行済み株式数 117,812,419株
代 表 者	[会　長]　石川　國雄 [社　長]　小園　文典
売 上 高 (2015年3月期)	連結 3,009億円 単独 2,366億円
従業員数 (2015年3月末)	連結 7,988名 単独 3,582名
本　社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号
事 業 所	支店 13　営業所 15
連結子会社	29社
決 算 日	3月31日

1. 会社紹介

(2) 社長プロフィール

小園　文典

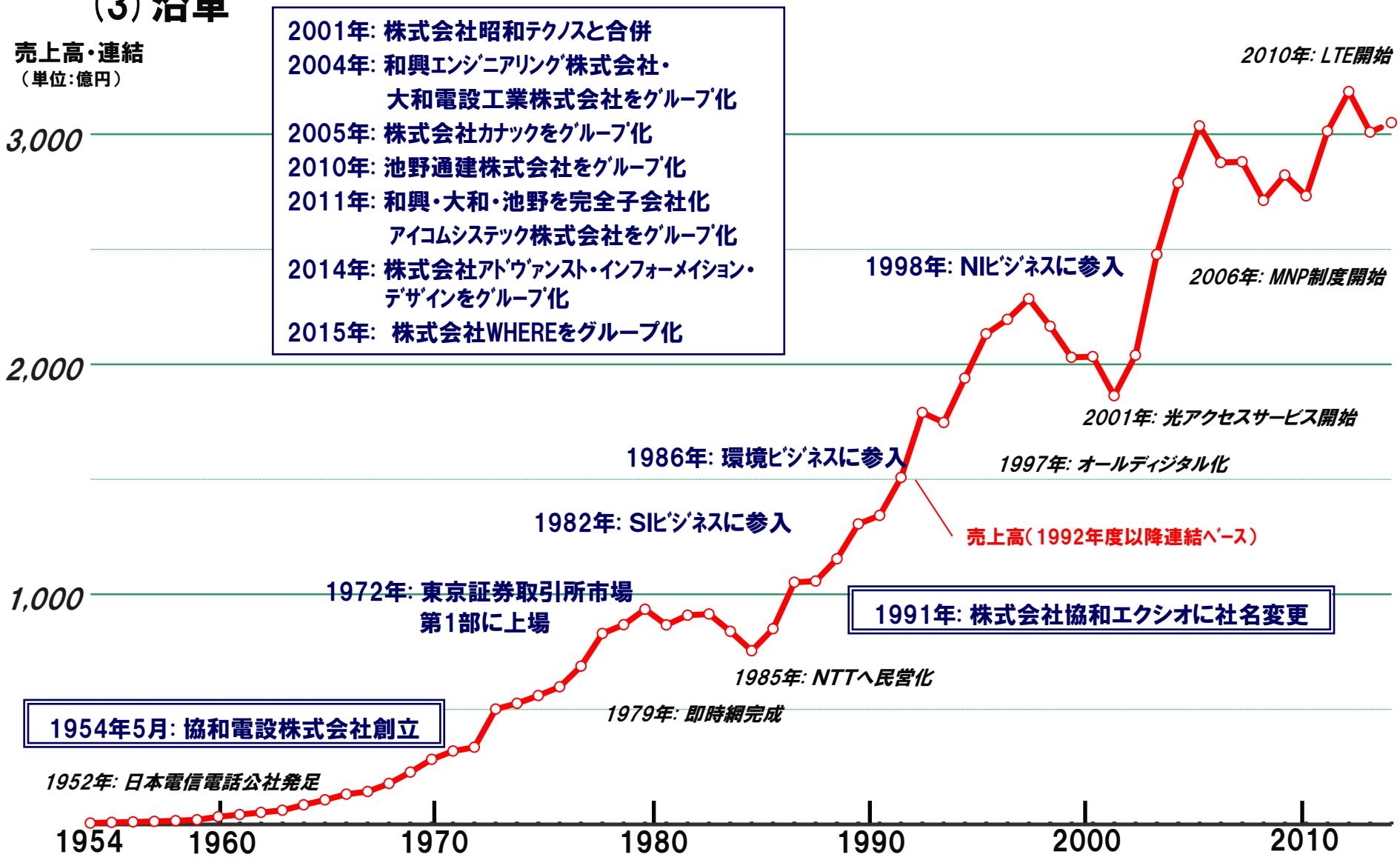
出身地　　鹿児島県
最終学歴　1975　九州大学　工学部　電気工学科　卒業

職歴

1975	日本電信電話公社入社
1999	同社　福島支店長
2005	東日本電信電話株式会社　取締役ビジネスユーザ事業推進本部　副本部長
2007	同社　常務取締役ネットワーク事業推進本部　副本部長
2008	同社　代表取締役副社長　ネットワーク事業推進本部長
	エヌ・ティ・ティ・ベトナム株式会社　代表取締役社長（兼務）
2009	東日本電信電話株式会社　代表取締役副社長　ビジネス＆オフィス事業推進本部長
2012	株式会社協和エクシオ　代表取締役副社長　ビジネスソリューション事業本部長
2013	同社　代表取締役社長

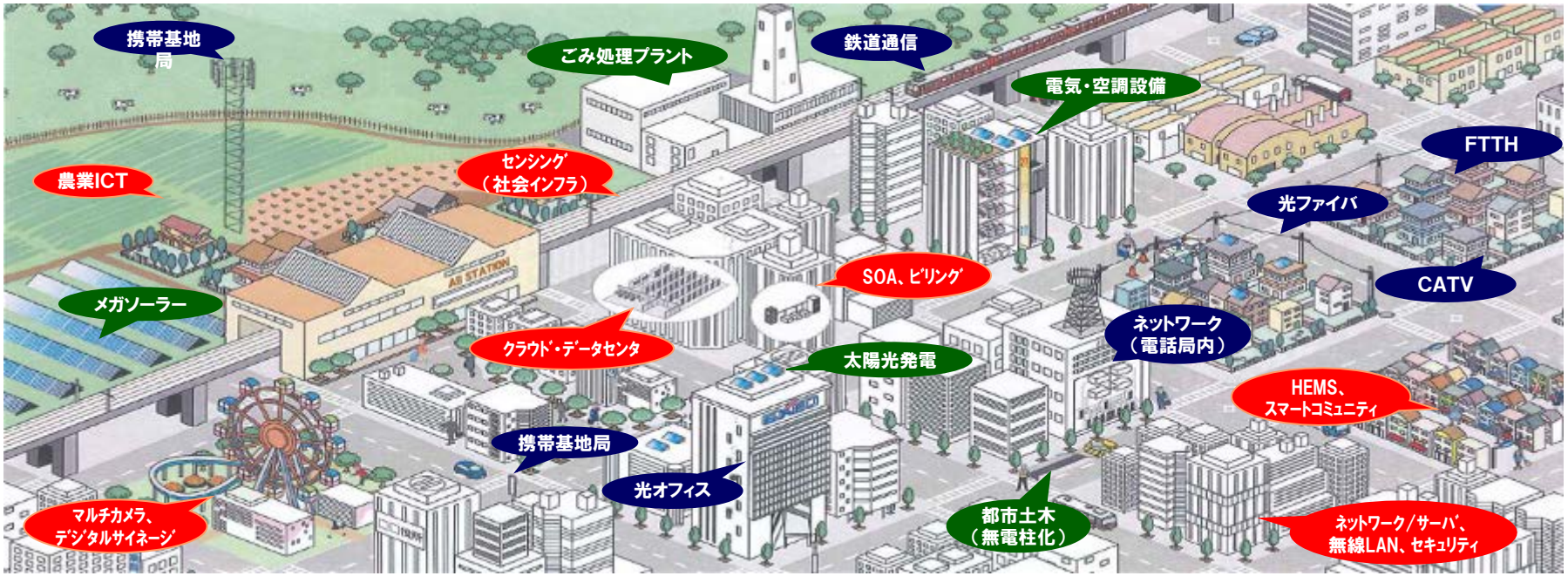
1. 会社紹介

(3) 沿革

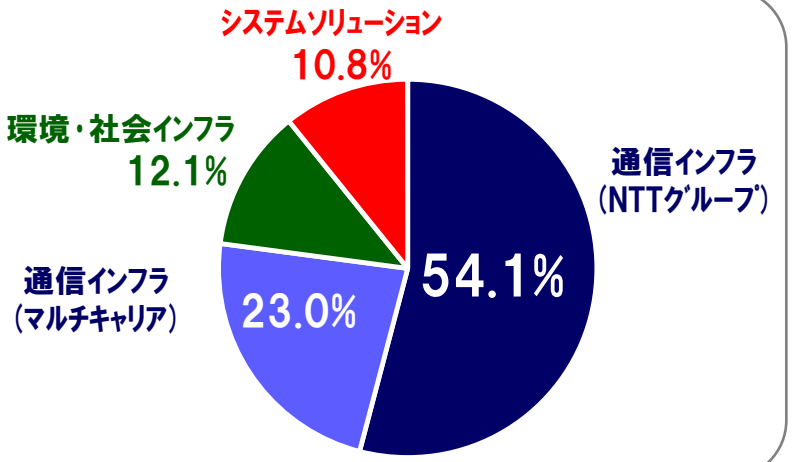

売上高・連結
（単位：億円）
3,000
2,000
1,000
2001年: 株式会社昭和テクノスと合併
2004年: 和興エンジニアリング株式会社・
大和電設工業株式会社をグループ化
2005年: 株式会社カナックをグループ化
2010年: 池野通建株式会社をグループ化
2011年: 和興・大和・池野を完全子会社化
アイコムシステック株式会社をグループ化
2014年: 株式会社アドヴァンスト・インフォーメイション・
デザインをグループ化
2015年: 株式会社WHEREをグループ化
2010年: LTE開始
1998年: NIビジネスに参入
2006年: MNP制度開始
2001年: 光アクセスサービス開始
1986年: 環境ビジネスに参入
1997年: オールディジタル化
1982年: SIビジネスに参入
売上高（1992年度以降連結ベース）
1972年: 東京証券取引所市場
第1部に上場
1991年: 株式会社協和エクシオに社名変更
1985年: NTTへ民営化
1979年: 即時網完成
1954年5月: 協和電設株式会社創立
1952年: 日本電信電話公社発足
1954
1960
1970
1980
1990
2000
2010

1. 会社紹介

(4) 事業概要



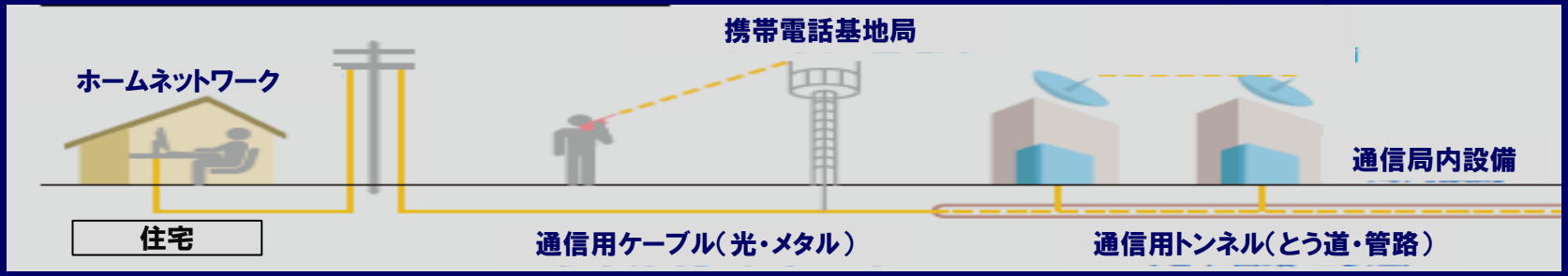
セグメント			売上高（2015年3月期連結）
エンジニアリング ソリューション	通信インフラ	NTTグループ	1,627億円
		マルチキャリア	691億円
	環境・社会インフラ		365億円
システムソリューション			325億円
合　計			3,009億円



(4) 事業概要－通信インフラ

◆ 創立以来、半世紀以上にわたって培ってきた当社のコア事業

- ・NTTグループ　・・・ NTTグループ各社の各種通信インフラ設備の構築・保守
- ・マルチキャリア　・・・ NCC、自治体、官公庁、CATV会社、鉄道会社、民間企業向けの各種通信インフラ設備の構築・保守



【アクセス】

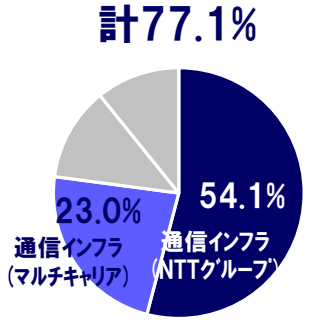
光ファイバ・ケーブル敷設工事、FTTH工事、通信土木工事

【ネットワーク】

電話局内の交換機・ルータ・サーバ設置工事、付帯電気・空調工事

【モバイル】

屋外・屋内の携帯電話基地局工事



1. 会社紹介

(4) 事業概要－環境・社会インフラ

◆ 通信インフラで培った電気・土木技術を活かし、暮らしやすい社会の実現に貢献

- 太陽光発電、バイオマスボイラ等の再生可能エネルギー関連工事
- オフィスビル、マンション、データセンタ等の電気・空調工事
- 無電柱化を中心とした都市土木工事
- 水処理、廃棄物処理プラント等の建設・運転維持管理

【再生可能エネルギー】

メガソーラー

【電気・空調工事】

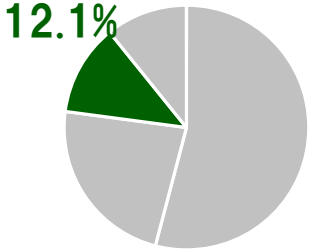
電気工事

【都市土木工事】

（施工前）　無電柱化　（施工後）

【水処理・廃棄物処理プラント】

ごみ処理プラント



(4) 事業概要－システムソリューション

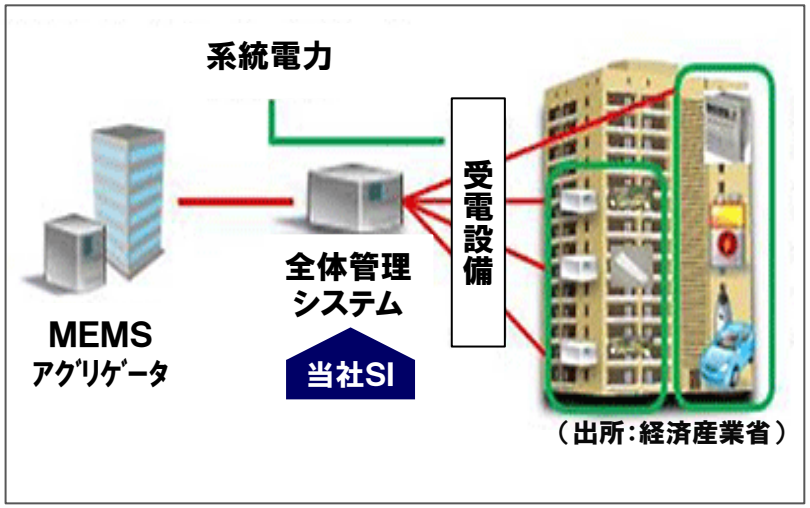
◆ NI・SI分野でICTを利活用したトータルソリューションを提供

- ネットワークインテグレーション(NI) ・・・ サーバ、無線LAN、セキュリティ、クラウド、映像、センシング等のネットワークソリューション・サービスの提供
- システムインテグレーション(SI) ・・・ SOA、ビリング、通信・金融向け等のシステムソリューション・サービスの提供

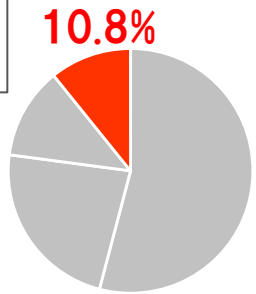
【ネットワークインテグレーション(NI)】

カスタマサービスセンタ

【システムインテグレーション(SI)】



マンション高圧一括受電ソリューション



1. 会社紹介

(4) 事業概要－グループ体制・拠点

■ グループ体制

協和エクシオ （単体売上高　2,366億円）

主要グループ会社（2社）

エクシオテック	大和電設工業
（売上高343億円）	（売上高118億円）

その他連結グループ会社（27社）

アクセス系	新栄通信／サンクレックス／フジ電設／エコス北栄 三協テクノ／カナック／ケイ・テクノス／シグマックス
土木系	エクシオインフラ／インフラテクノ
ネットワーク系	エクシオネットワーク／マルチメディア・エンジニアリング
モバイル系	エクシオモバイル／東邦通信／ユウアイ通建 協栄電設工業／電盛社
IT系	アイコムシステック／アクレスコ／ アドヴァンスト・インフォーメイション・デザイン
その他	キステム／キョクヨウ／新和製作所／エクシオ物流サービス エクシオビジネス／旭電話工業／MGエクシオ

■ 拠点

■ 本支店・営業所
● 主要グループ会社
▲ その他連結グループ会社

【海外拠点】
フィリピン
タイ

（注）1. 各社売上高は2015年3月期実績です。
2. 和興エンジニアリングと池野通建は2015年7月1日に合併しエクシオテックとなりました。売上高は両社の合算値です。

(5) 当社の強み

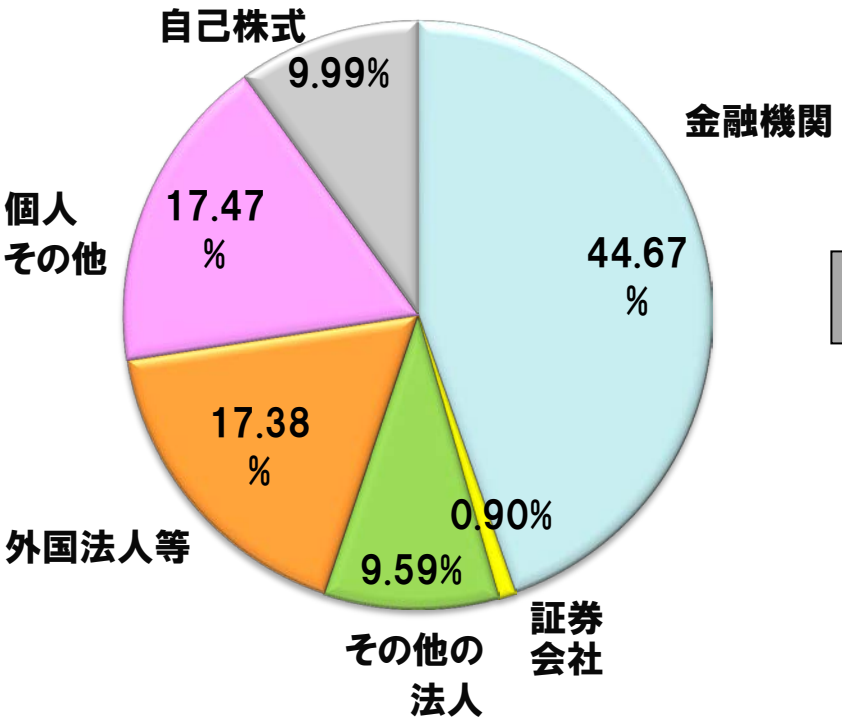
トータルプロセス(プロセス一貫施工)
企画・開発
施工
運用・保守
トータルソリューション
光アクセス網
次世代ネットワーク網(NGN)
モバイル(LTE → LTE-Advanced)
無電柱化
NIソリューション、SIソリューション
再生可能エネルギー(太陽光等)、エコ事業
電気設備
ホームICT・スマートハウス
全国エリア体制・マルチキャリア対応、マイグレーション対応

1. 会社紹介

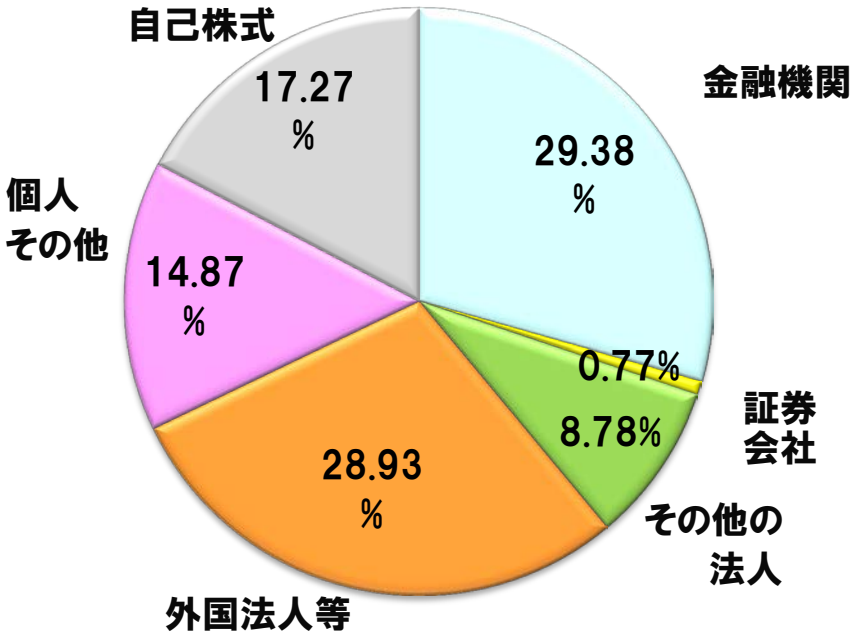
(6) 株主の状況

■ 構成比率の状況

【2012年3月末】

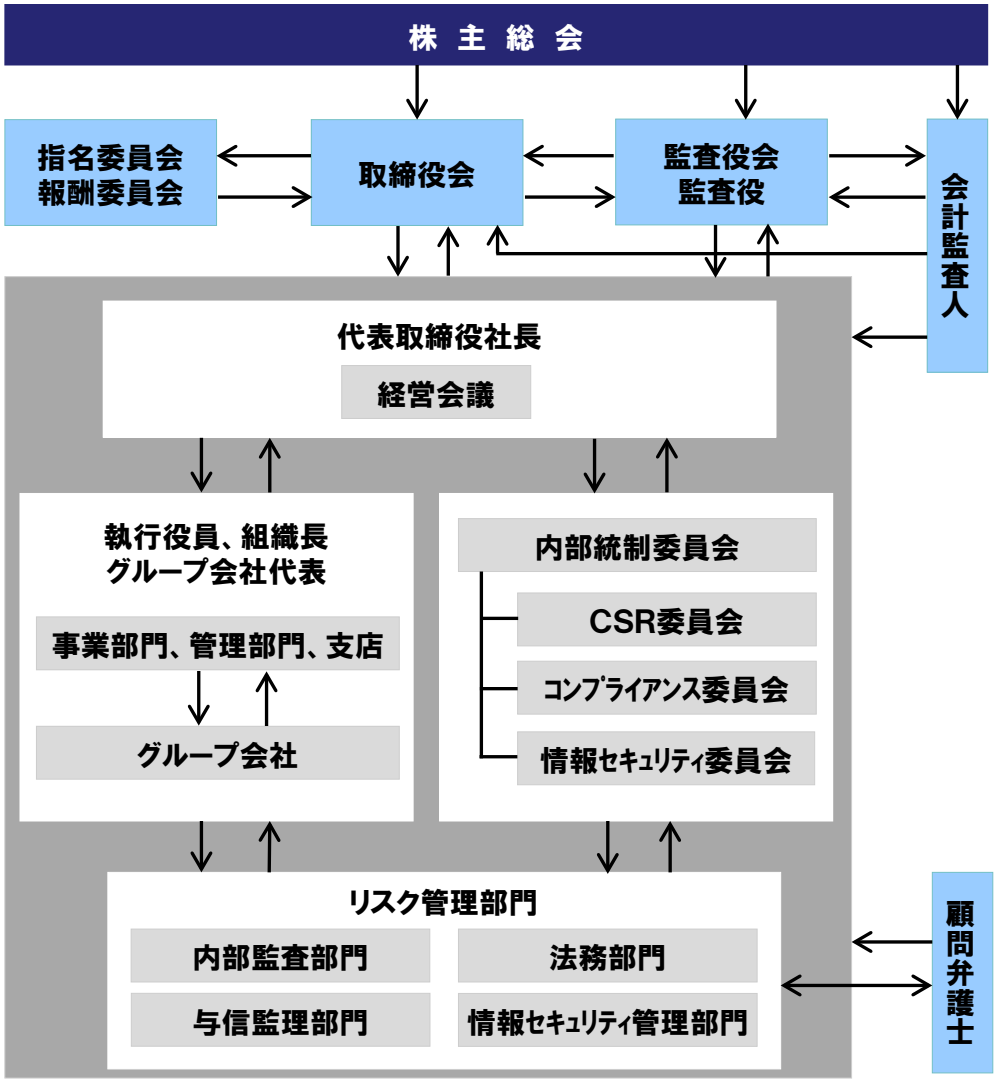


【2015年9月末】



(7) ガバナンス体制

■ 概要図



■ 役員一覧

代表取締役会長	石川　國雄
代表取締役社長	小園　文典
取締役専務執行役員	渡邉　隆之
取締役専務執行役員	酒井　隆司
取締役常務執行役員	松坂　吉章
取締役常務執行役員	戸谷　典嗣
取締役常務執行役員	太田　勉
取締役常務執行役員	大坪　康郎
取締役	作山　裕樹
社外取締役※	北井　久美子
社外取締役※	金澤　一輝
常勤監査役	杉田　裕次
常勤監査役	渡邉　晴彦
社外監査役	山田　明
社外監査役※	目黒　高三

※東京証券取引所の規定する独立役員です。

2. 株主価値の向上

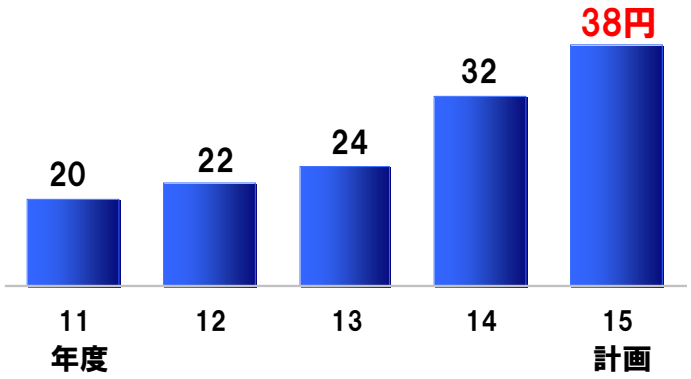
（1）株主還元

2. 株主価値の向上

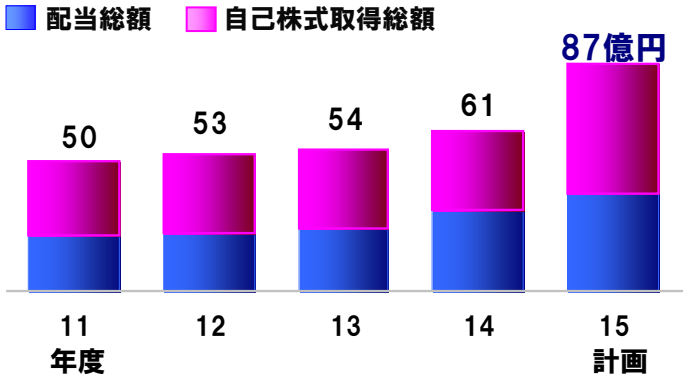
（1）株主還元

◆ 年間配当を前期比6円増の38円に増配
◆ DOE3％を目途に、中長期的に右肩上がりの安定配当を継続

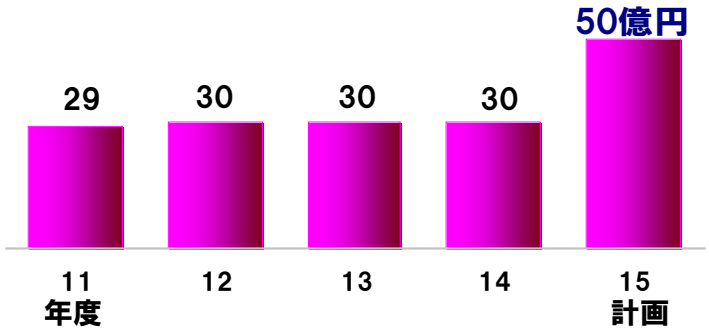
■ 配当（1株あたり）



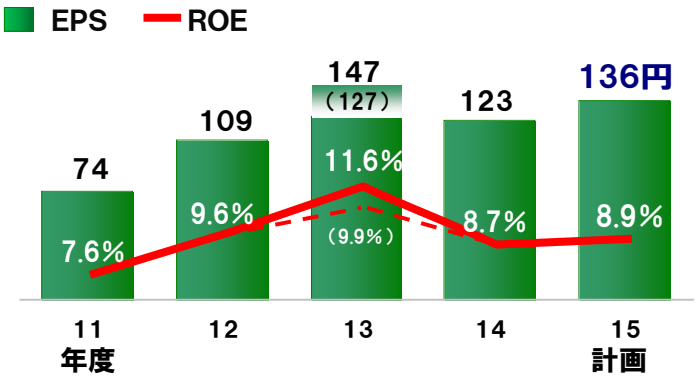
■ 総還元額（配当総額＋自己株式取得総額）



■ 自己株式取得



■ EPS・ROE



3.　業績概況

(1)　中期経営計画

(2)　2020年のイメージ

(3)　2015年度第3四半期実績および通期計画

(4)　受注高・売上高

(5)　営業利益

(6)　キャッシュフロー

(7)　生産性の向上

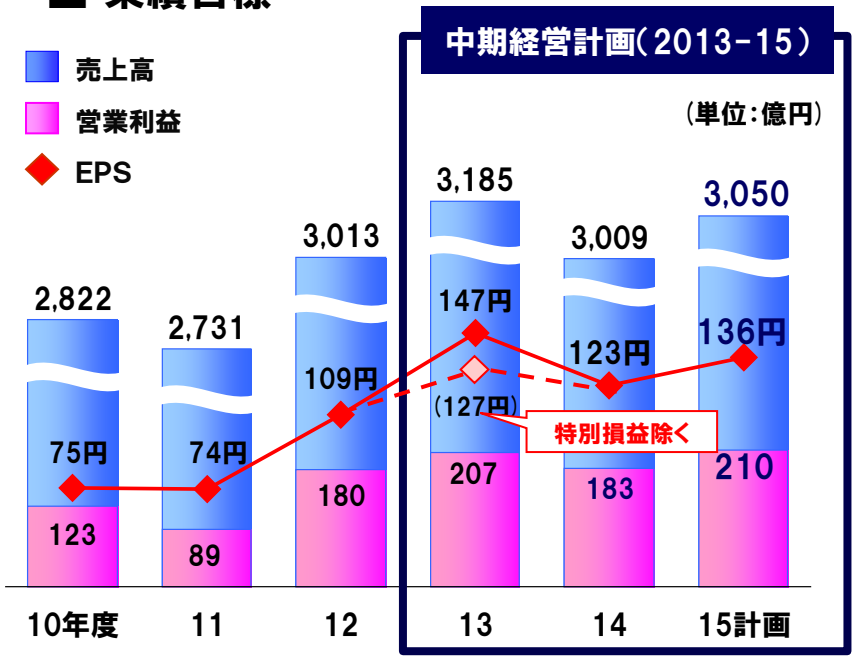
(1) 中期経営計画

◆ Non-NTT事業の拡大、効率化施策の推進により、再び増収増益へ

■ 中期ビジョン

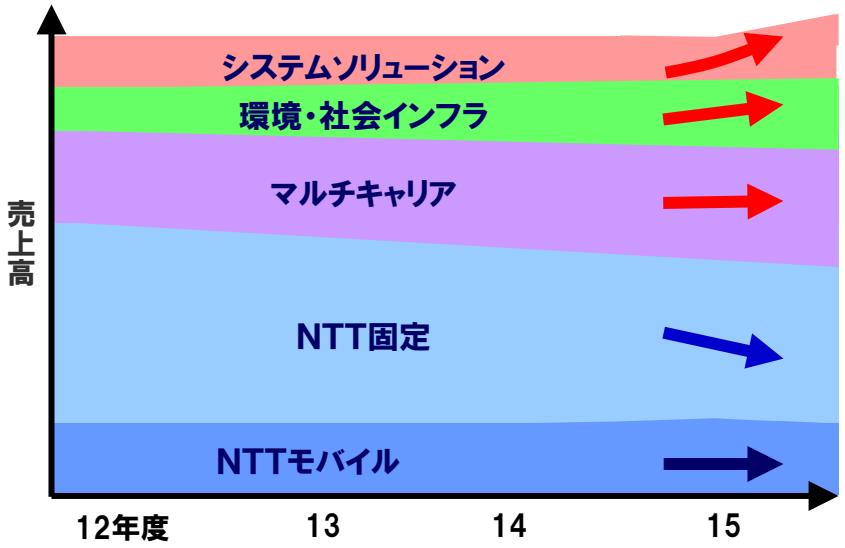
トータルICTソリューションをグループ一体で推進し、価値創造と成長基盤を確立する

■ 業績目標



(注)億円未満は切り捨てています。

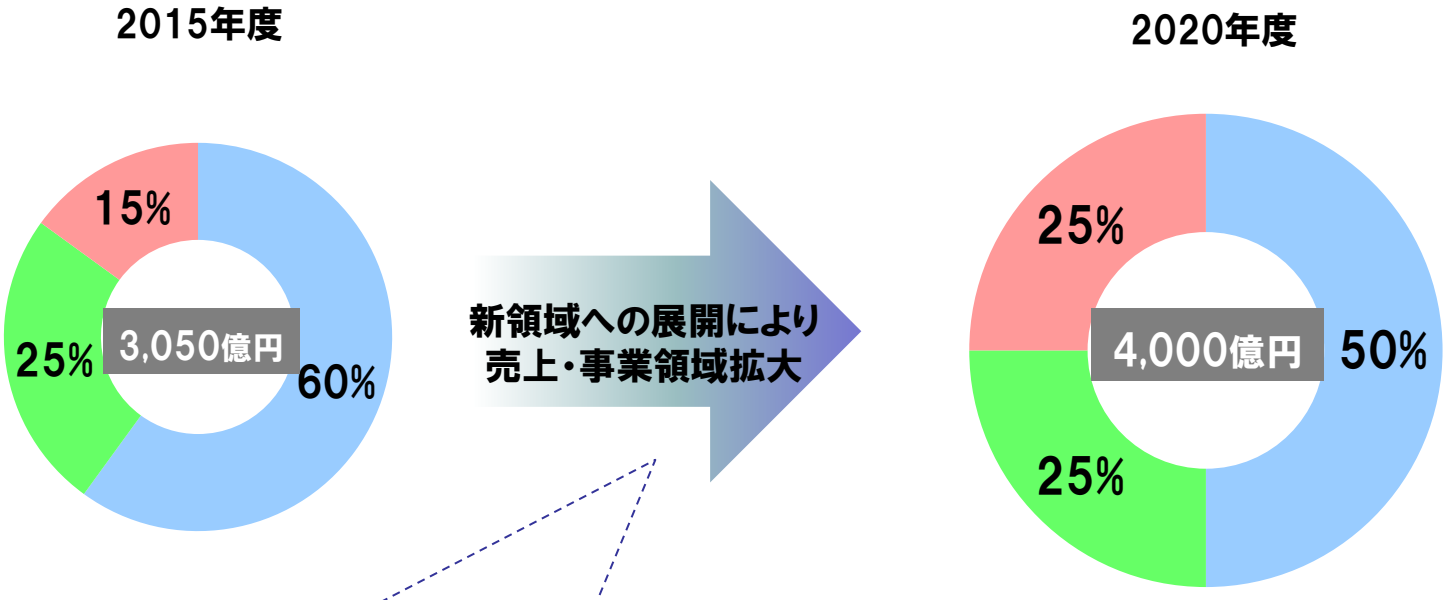
■ 事業の方向性



3. 業績概況

(2) 2020年のイメージ

◆ 2020年度には4,000億円企業へ
◆ 事業ポートフォリオの再構築を進め、ソリューション事業を第2の柱に育成



通信キャリア事業	投資減少も新領域拡大により維持
都市インフラ事業	2020、国土強靭化等により ビジネスチャンス拡大
ソリューション事業	新領域(新エネルギー等)への展開 ソフト開発の拡大

(2) 2020年のイメージ

◆ 持続的な売上高拡大・利益創出と資本効率向上により企業価値を高める

■ 業績目標

	2014年度 実績	2015年度 計画	2020年度 目標
売　上　高	3,009億円	3,050億円	4,000億円
営 業 利 益	183億円	210億円	300億円
営業利益率	6.1%	6.9%	7.5%
R　O　E	8.7%	8.9%	10.0%
E　P　S	123円	136円	200円

ROE：自己資本利益率　EPS：1株あたり利益

(3) 2015年度第3四半期実績および通期計画

◆ NCCの受注減、完成時期の遅れ等により、売上・利益ともに前期比減

◆ 通期計画に向けて、引き続き尽力

(単位:億円)

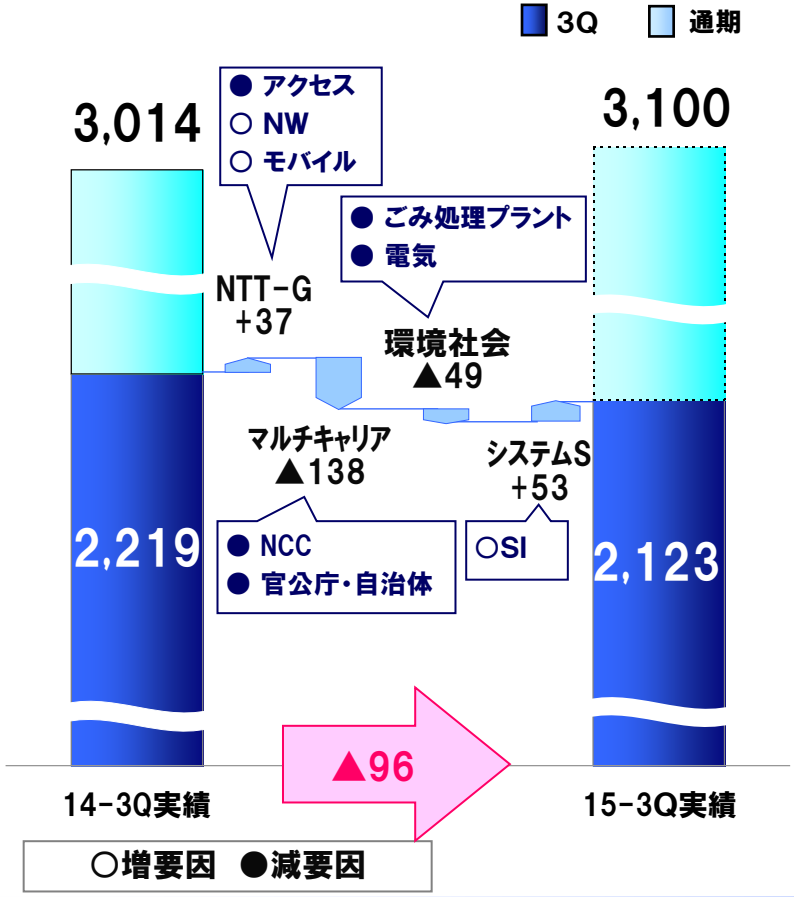
	15.3期(14年度)		16.3月期(15年度)				
			第3四半期累計期間			通期	
	第3四半期累計期間 A	通期 B	実績 C	前期比 C/A	対通期計画進捗率 C/D	計画 D	前期比 D/B
受注高	2,219	3,014	2,123	96%	68%	3,100	103%
売上高	1,962	3,009	1,714	87%	56%	3,050	101%
売上総利益	(12.1%) 237	(11.9%) 357	(12.1%) 207	87%	54%	(12.7%) 386	108%
販管費	(6.5%) 128	(5.8%) 173	(7.5%) 128	100%	73%	(5.8%) 176	101%
営業利益	(5.6%) 109	(6.1%) 183	(4.6%) 79	73%	38%	(6.9%) 210	114%
経常利益	(5.8%) 114	(6.2%) 185	(4.7%) 80	70%	38%	(6.9%) 210	113%
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(3.8%) 74	(4.1%) 122	(2.8%) 48	65%	37%	(4.3%) 132	108%

(注)1. 億円未満は切り捨てています。 2. ( )内は売上高に対する割合です。

(4) 受注高・売上高

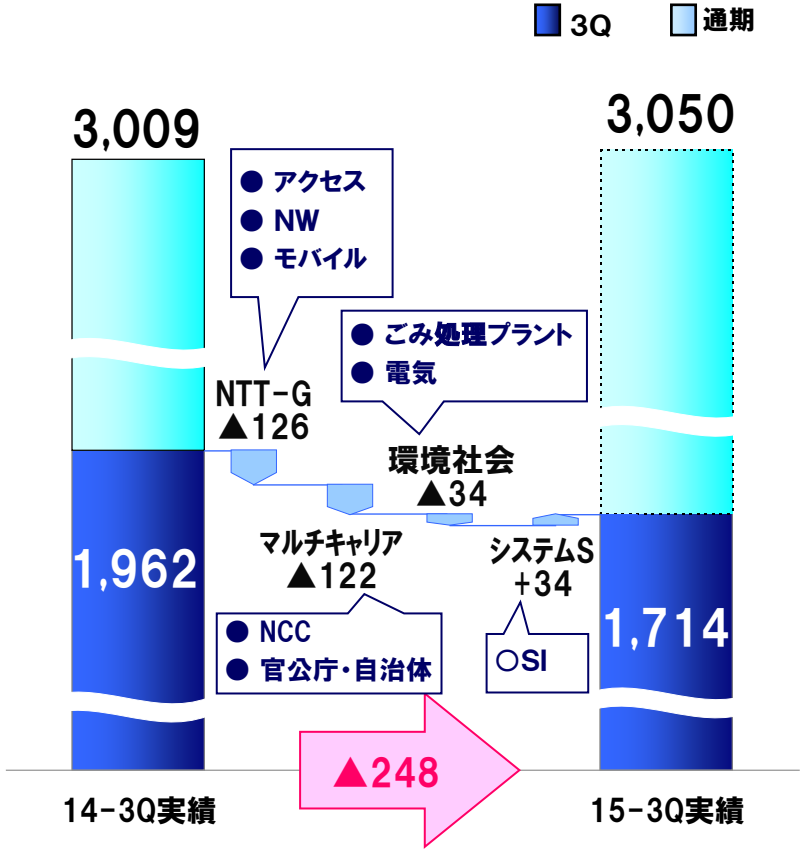
- ◆ 受注はNTT、システムSが伸びるが、NCCの減少が大きく前期比減
- ◆ 売上はNCC受注減、完成時期の遅れ等により前期比減

■ 受注高(連結)



■ 売上高(連結)

(単位:億円)



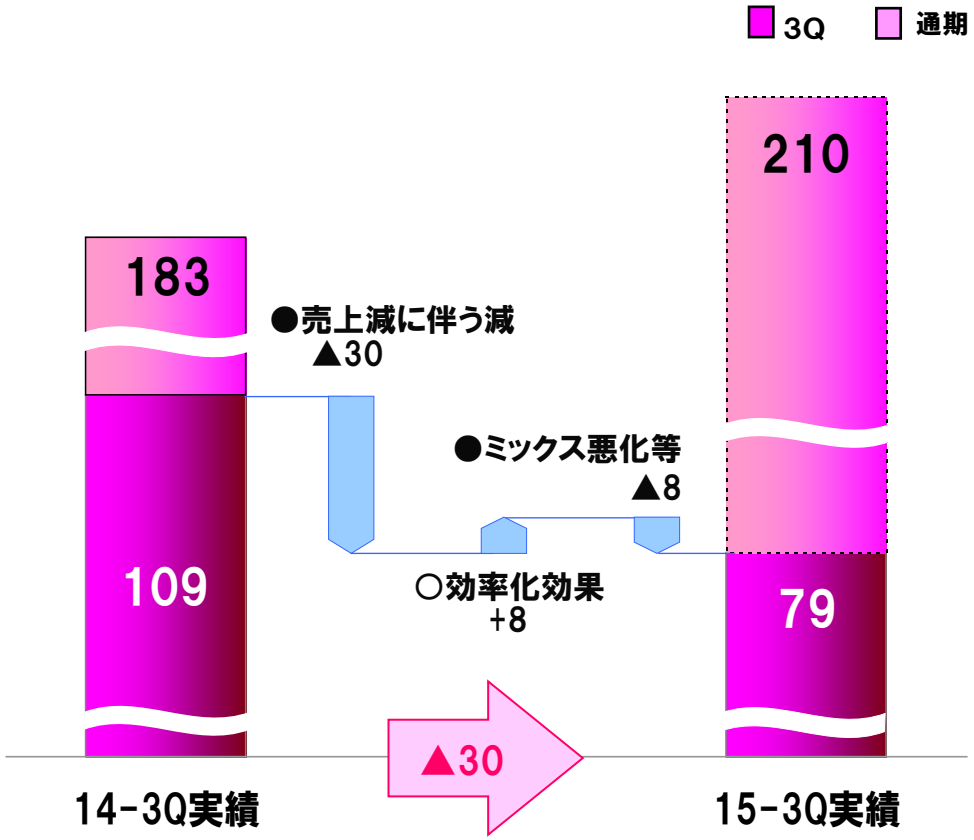
(注)億円未満は切り捨てています。

(5) 営業利益

◆ 効率化効果は出るも、受注減にともなう売上減の影響により減少

■ 営業利益(連結)

(単位:億円)



○増要因 ●減要因

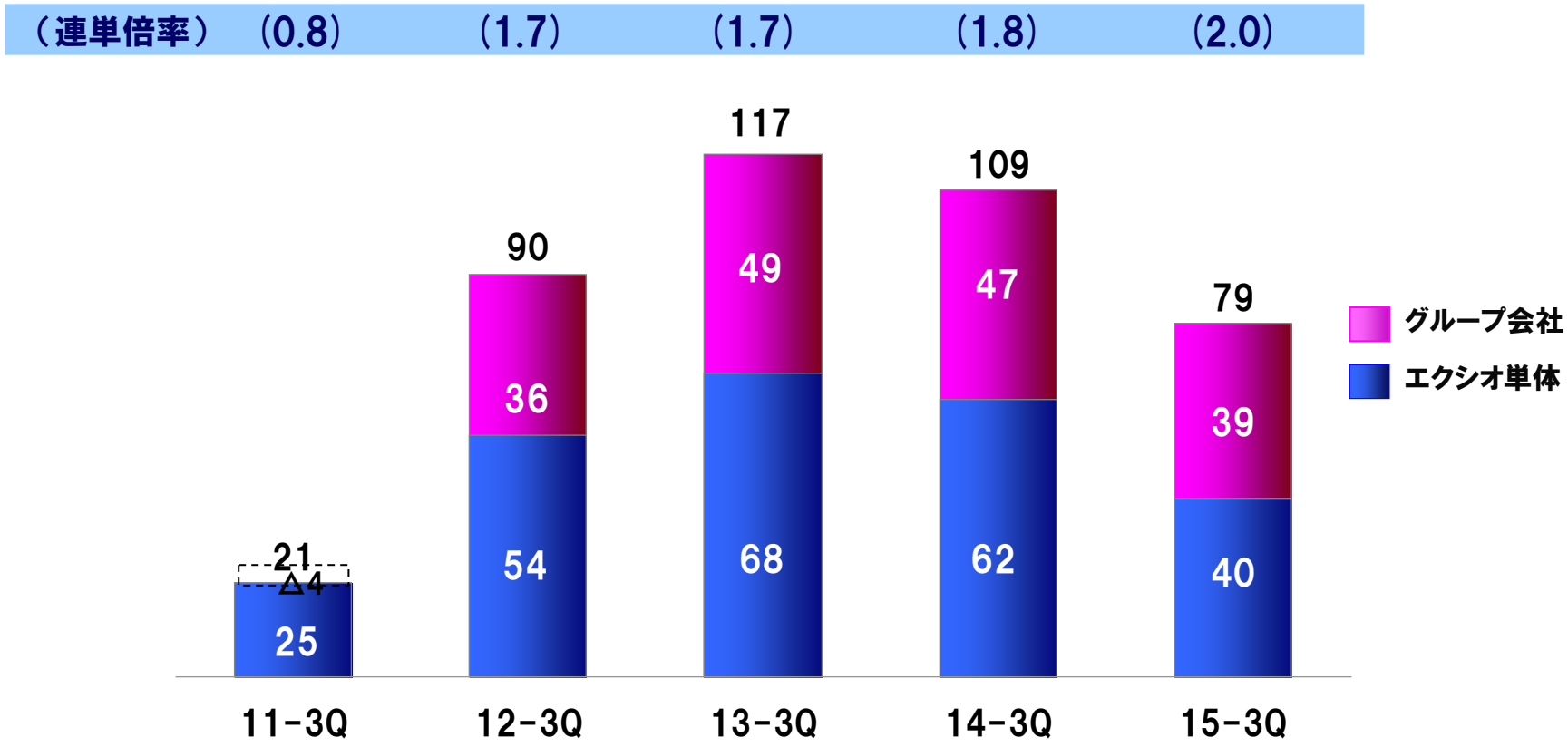
(注)億円未満は切り捨てています。

＜参考＞ グループ会社の利益推移

◆ グループ会社利益は引き続き高水準

■ 営業利益の過去5年間の推移(連・単)

（単位:億円）



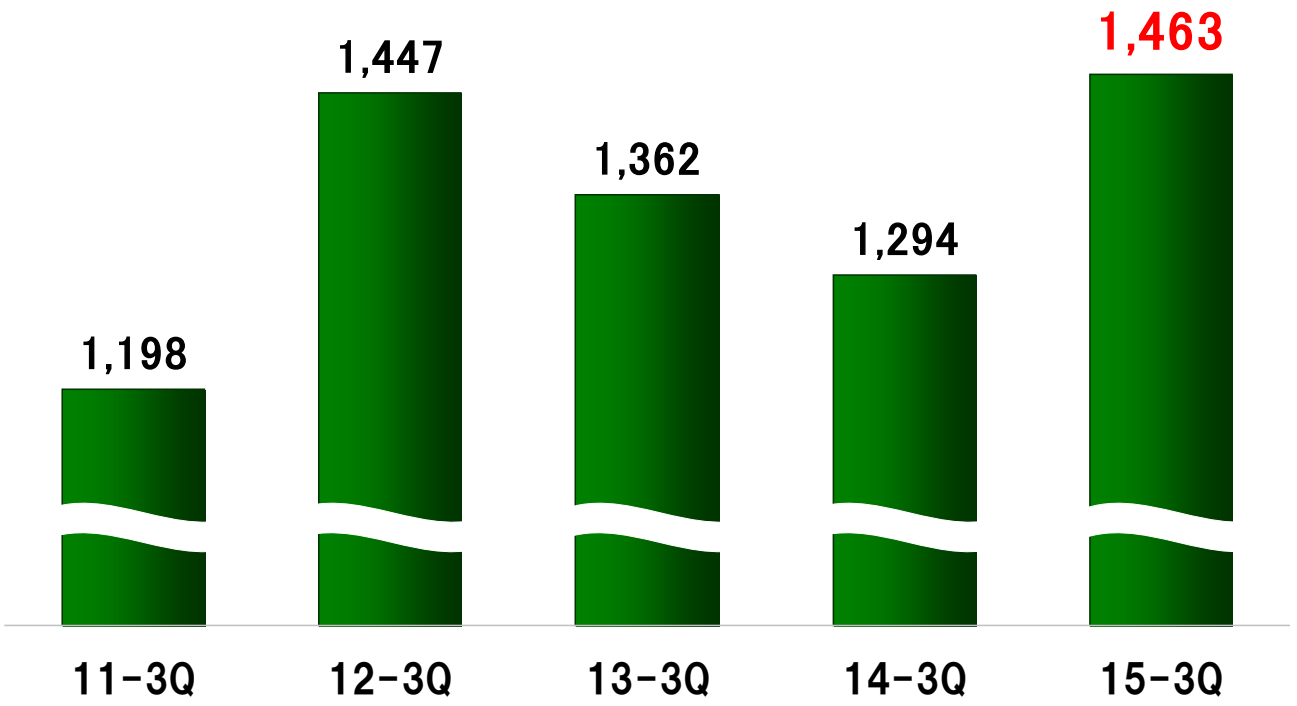
（注）1. 連単倍率＝連結営業利益÷単体営業利益　2. 億円未満は切り捨てています。

＜参考＞ 4Qへの繰越工事の状況

◆ 繰越工事高は過去最高

■ 3Q→4Qへの繰越工事高の推移（連結）

（単位：億円）



（注）億円未満は切り捨てています。

(6) キャッシュフロー

◆ キャッシュフローは安定

■ キャッシュフロー(連結)

(単位:億円)

	12年度	13年度	14年度 2Q	14年度 通期	15年度 2Q
期首手持資金	123	146	162	162	242
営業CF	71	98	231	231	99
投資CF	▲ 21	▲ 74	▲ 13	▲ 28	▲ 33
財務CF	▲ 30	▲ 9	▲ 106	▲ 123	▲ 50
期末手持資金	146	162	273	242	258

(注)億円未満は切り捨てています。

(7) 生産性の向上

◆ 今期目標10億に対し、3Qで8億の改善実績
◆ 引き続き、利益改善施策を継続

■ 利益改善効果

	年度	2012	2013	2014	2015
改善額	目標	10億円（累計20億円）	15億円（累計35億円）	15億円（累計50億円）	10億円（累計60億円）
	実績	20億円（累計30億円）	20億円（累計50億円）	20億円（累計70億円）	8億円（累計78億円）

（注）改善額は2010年度対比でのコスト削減額

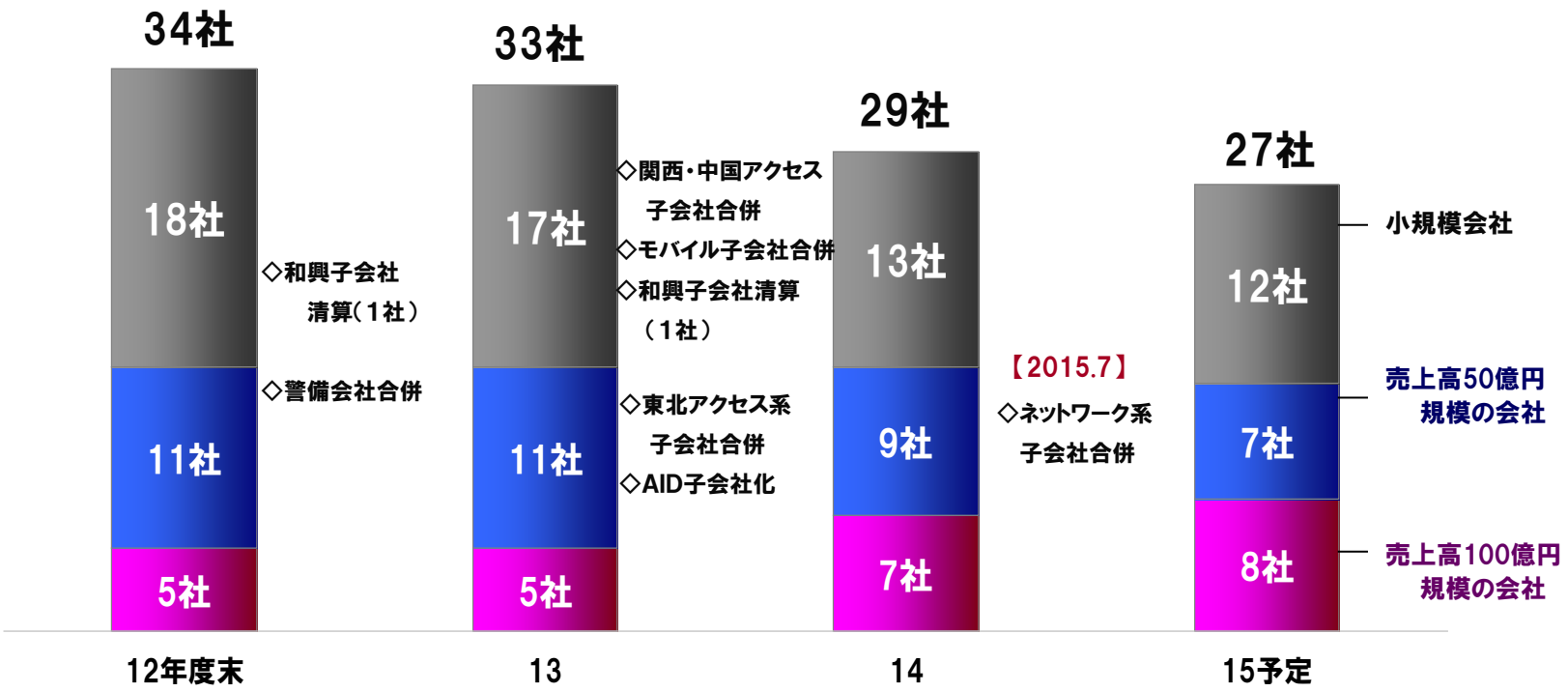
■ 最近の主な施策

区分	施策		
機能統合	◇アクセス・ネットワーク・土木施工体制見直し ◇監査・MS業務のグループ一元化	◇シェアード会社業務委託拡大 ◇アクセス関東エリアのグループ内再編	◇業務改善PJによる組織横断のシステム統合 ◇設備管理システムによる施工業務改善
グループ再編	◇警備子会社合併 ◇モバイル系子会社合併	◇関西・中国アクセス系子会社合併 ◇東北アクセス系子会社合併	◇主要子会社（和興・池野）合併 ◇ネットワーク系子会社合併
拠点統合	◇仙台総合エンジニアリングセンタ（9→1拠点） ◇石岡総合技術センタ（4→1拠点）	◇香川技術センタ（5→1拠点） ◇甲信支店（5→1拠点）	◇兵庫総合技術センタ（5→1拠点）
リソース共有	◇モバイル分野・ソリューション分野へのリソースシフト（約240名） ◇グループ横断プロジェクト（モバイル、700MHzテレビ受信対策、EV充電 等）		

＜参考＞ グループ会社再編

◆ 効率性向上とリソース最適化を目的にグループ再編を加速

■ 子会社数の推移（エクシオテック、大和電設工業除く）



4.　セグメント別の状況

(1)　主要通信キャリアの設備投資動向

(2)　NTTグループ(アクセス・ネットワーク)

(3)　NTTグループ(モバイル)

(4)　マルチキャリア

(5)　環境・社会インフラ

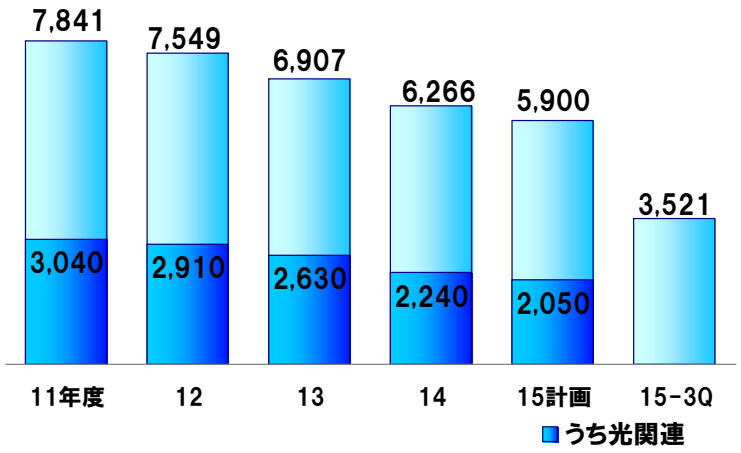
(6)　システムソリューション

4. セグメント別の状況

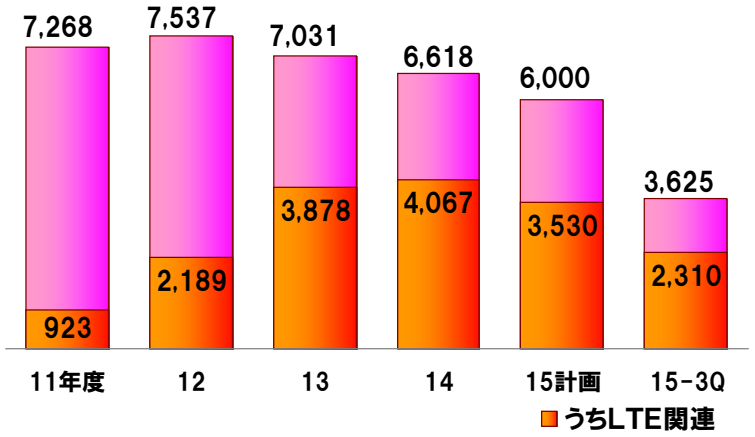
（1）主要通信キャリアの設備投資動向

（単位：億円）

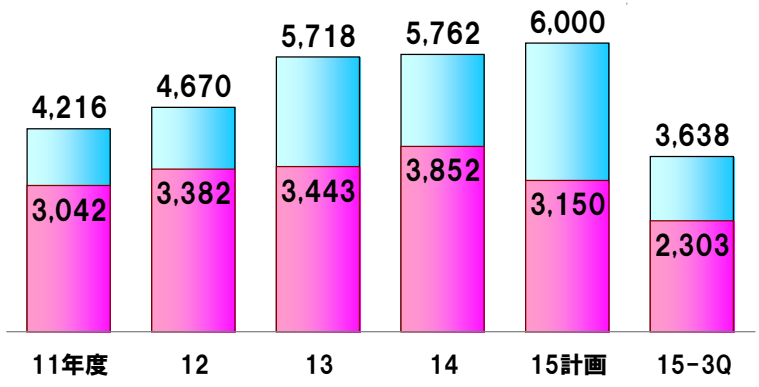
■ NTT東西



■ NTTドコモ

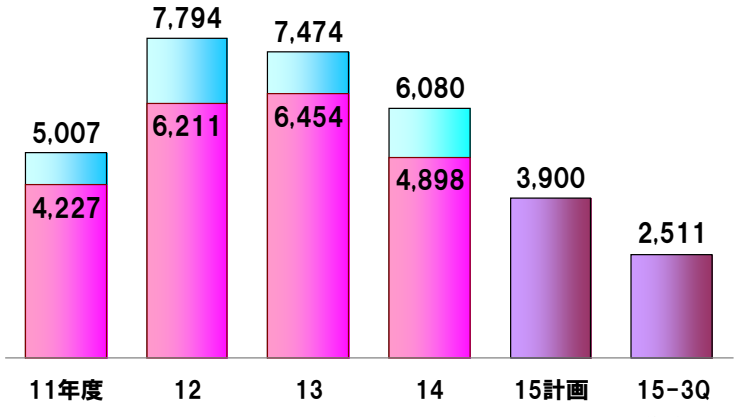


■ KDDI



※15計画の移動には、UQを含む

■ ソフトバンク



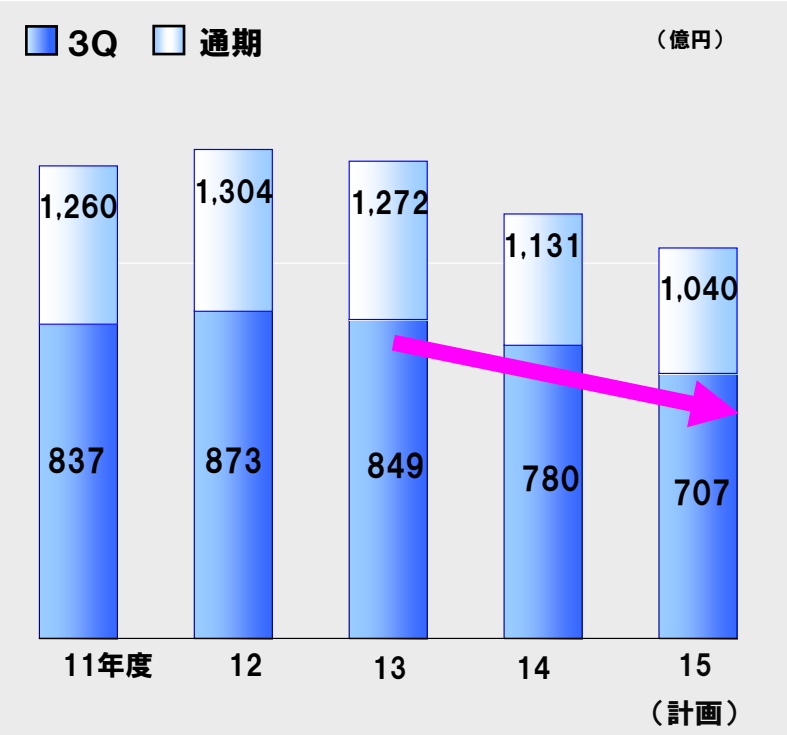
（出所：通信キャリア各社発表値）

4. セグメント別の状況

(2) NTTグループ(アクセス・ネットワーク)

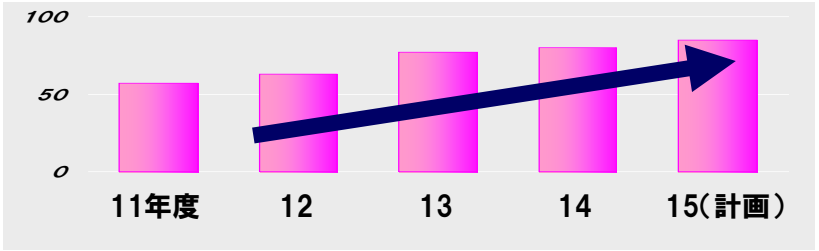
◆ 固定系は引き続き減少トレンド
◆ 業務効率化を徹底し、利益確保へ

■ NTTグループ(固定系)の売上高推移(連結)



■ NTT設備運営(固定系)

【売上高の推移(連結)】 (億円)



■ アクセス・ネットワーク系子会社統合

和興エンジニアリング
池野通建
7/1 統合
エクシオ・テック

業務効率化による収益性向上
事業領域拡大(ソリューション、モバイル事業等)

協和シナックス
大東工業
新協エンジニアリング
7/1 統合
エクシオネットワーク

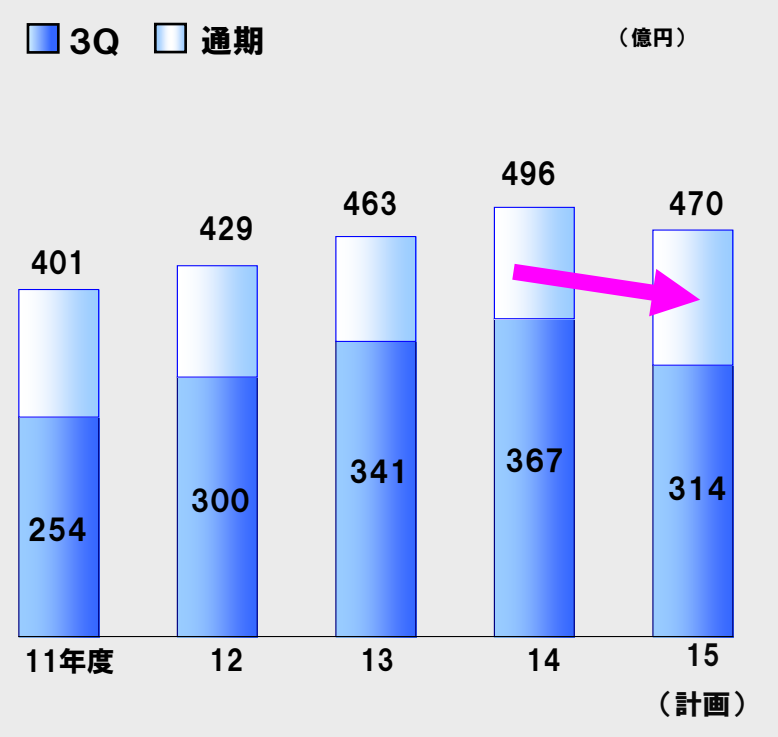
業務効率化による収益性向上、全国エリアでの稼動調整

4. セグメント別の状況

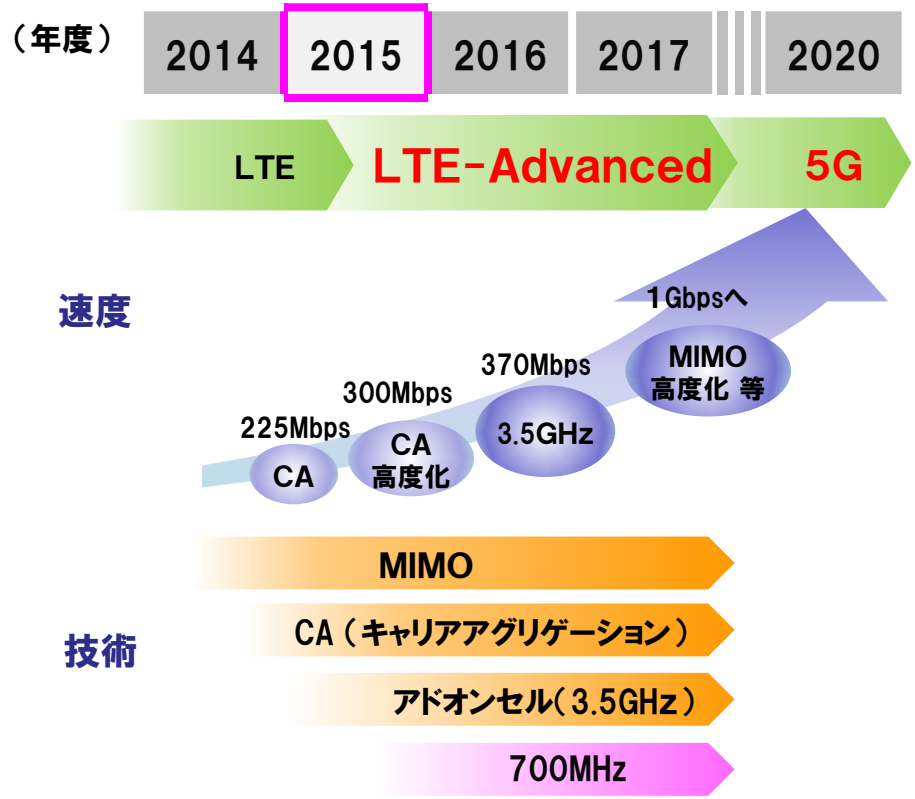
(3) NTTグループ(モバイル)

◆ LTE-Advancedが本格化
◆ 工事の小規模化、大都市集中傾向が顕著に

■ NTTグループ(モバイル)の売上高推移(連結)



■ NTTドコモのネットワーク展開



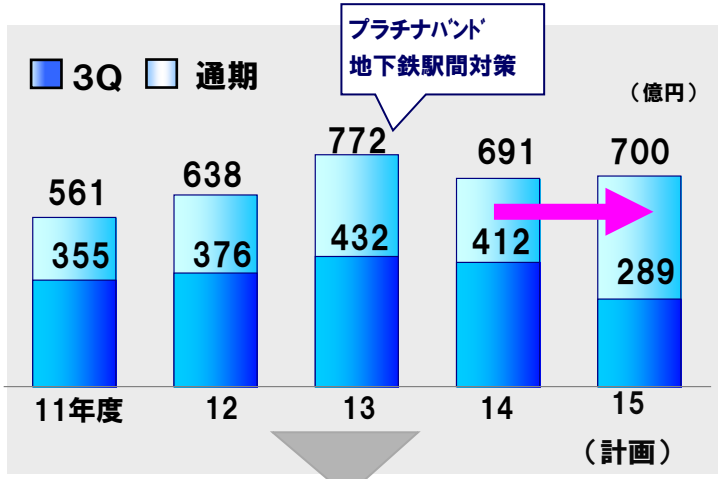
(出所:NTTドコモ決算説明会資料より当社作成)

4. セグメント別の状況

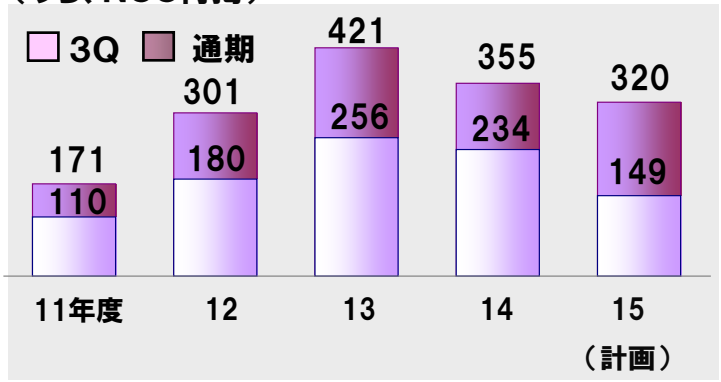
(4) マルチキャリア

◆ NCC向け工事はシェア拡大を図るも、受注減が大きく影響
◆ 公共案件はターゲットを絞り、積極的に営業展開

■ マルチキャリアの売上高推移(連結)

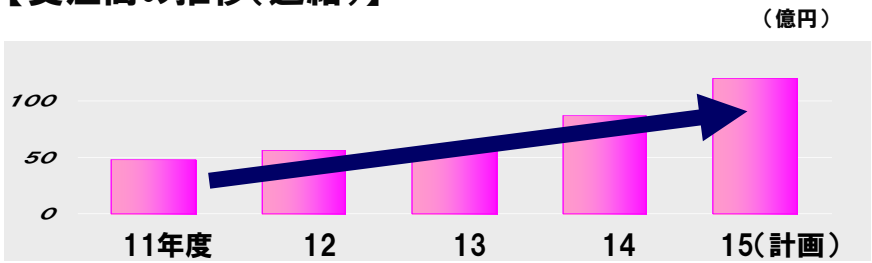


(うち、NCC再掲)



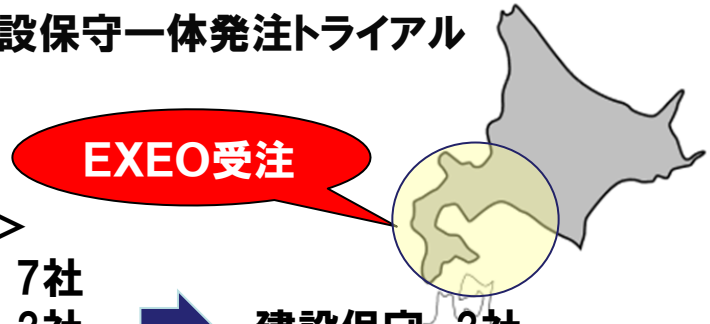
■ 官公庁通信系工事

【受注高の推移(連結)】



◇主なターゲット
- 消防/防災無線
- 国土強靭化(CCTV、道路通信等)

■ KDDI建設保守一体発注トライアル



<北海道>
建設 7社
保守 3社
合計 延べ10社

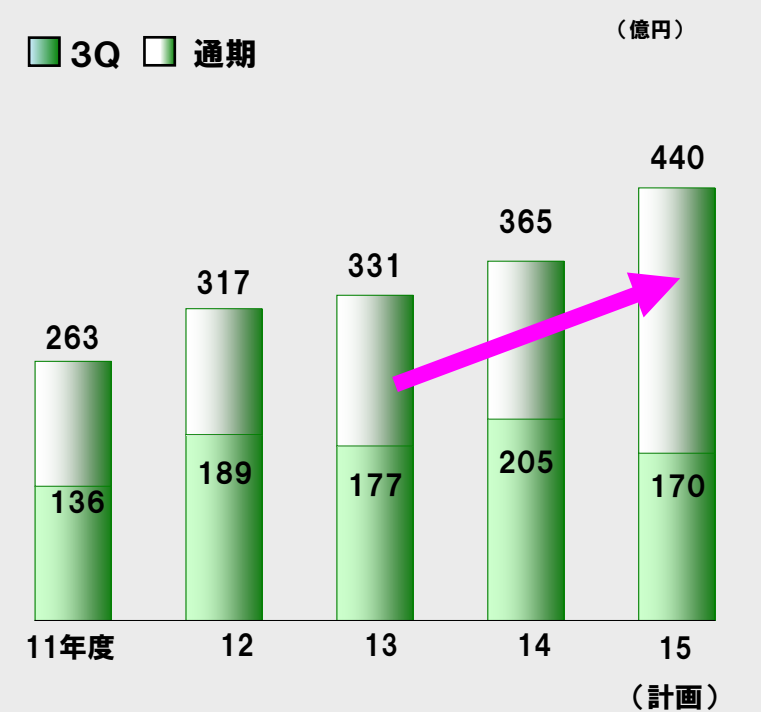
→ 建設保守 3社

4. セグメント別の状況

(5) 環境・社会インフラ

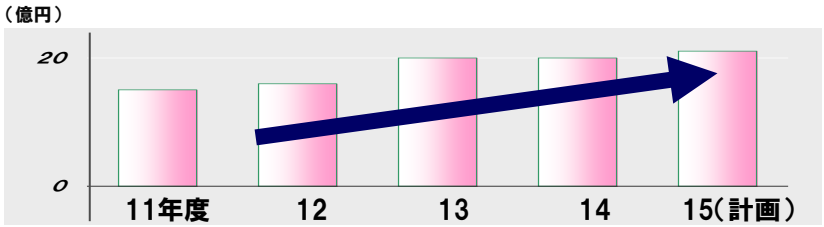
◆ 東京五輪に向け、首都圏再開発、無電柱化は本格化
◆ ごみ処理プラント運転維持管理業務は順調に拡大

■ 環境・社会インフラの売上高推移(連結)



■ ごみ処理プラント運転維持管理

【売上高の推移(連結)】



■ 首都圏再開発

＜最近の主な再開発関連受注(電気設備等)＞

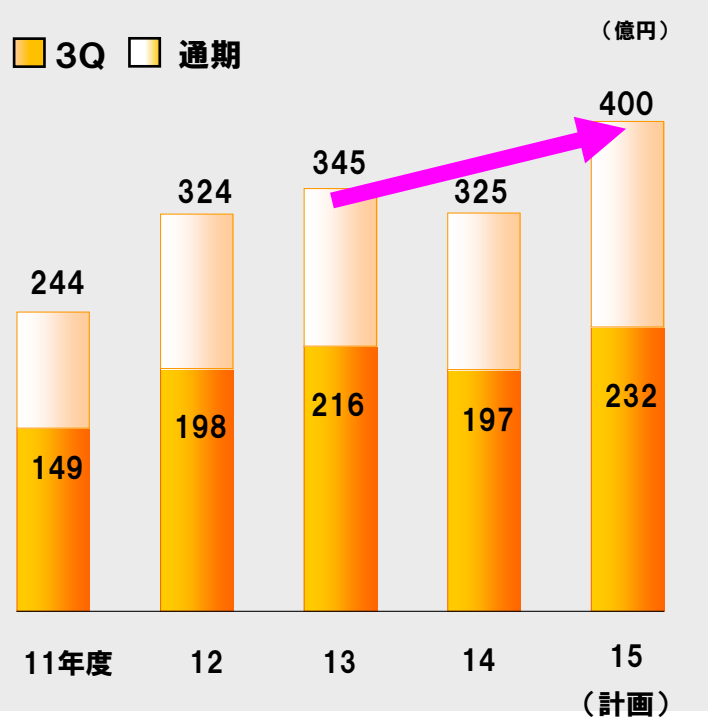
有明地区計画(集合住宅)	南平台プロジェクト	都市再生プロジェクト
約21億円	約16億円	約7億円
2015.7	2015.9	2015.8

4. セグメント別の状況

(6) システムソリューション

◆ 高い技術力と豊富な人材を活かし、SI事業の拡大へ
◆ 新ソリューションを新たな事業の柱へ

■ システムソリューションの売上高推移(連結)



■ SI(システムインテグレーション)事業

顧客からの高い評価とSE1,500人体制で、更なる業容拡大へ

＜主要顧客の最上位パートナー＞
NTTデータ　…コアビジネスパートナー
NTTコムウェア　…プレミアムエクセレントパートナー
NEC　…Platinum
※コンパージドネットワーク事業部

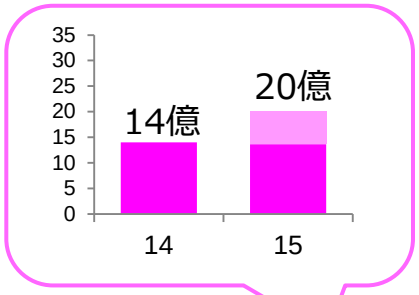
■ NI(ネットワークインテグレーション)事業

LAN／WANなどのネットワーク構築技術をベースに
技術の融合により新たな事業の柱を創出

＜新ソリューションを新たな柱へ＞
新エネルギー：スマートメーター、EMS
ジオソリューション：EXトラベル、ビーコン測位技術
クラウド・セキュリティ：マイクロソフト連携、シンクライアント
グローバル他：東南アジア空港ICT、沖縄振興

4. セグメント別の状況

＜参考＞ 新ソリューション・グローバルの実績・今後の取組み



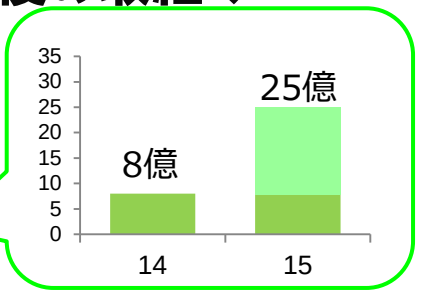
商社・メーカーとの連携強化
複数の東南アジア空港ＰＪ等進行中

グローバル他

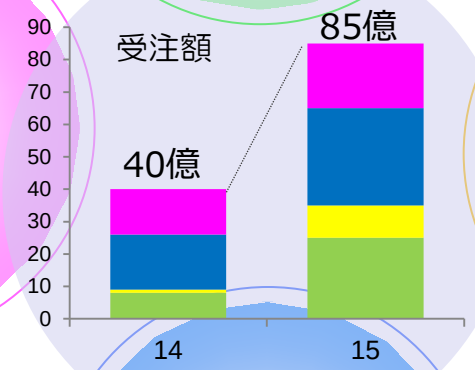
・沖縄
・国際
・支援案件他

新エネルギー分野

・地域電力会社
・新電力（PPS）
・スマートメーター



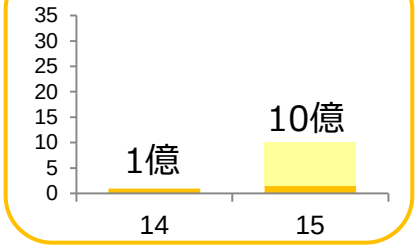
新電力事業者向けクラウドサービス リリース
電力会社への新サービス提供・スマートメーター工事
2016年開始予定

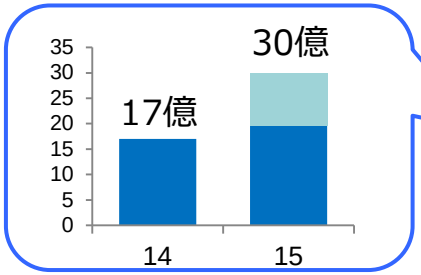


ジオソリューション分野

・EXTravel
（屋外/屋内/教育/観光スポット版）
・ビーコン測位
（国交省ＰＪ等）

EXTravel 日光市に続き、
4自治体より受注
WHERE社完全子会社化、
G空間ビジネスへ展開





クラウド・セキュリティ分野

・シンクラ・仮想化
・セキュリティ基盤
・M2M、IoT

マイクロソフト社との連携によるｸﾗｳﾄﾞ総合ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
文教・公共分野（学校ﾈｯﾄﾜｰｸ、自治体サーバ等）

4. セグメント別の状況

＜参考＞ 新電力事業者向けクラウドサービス

2020年 333万戸
（シェア20%）
累計受注20億円 済
さらなるシェア拡大へ

11社より内定済

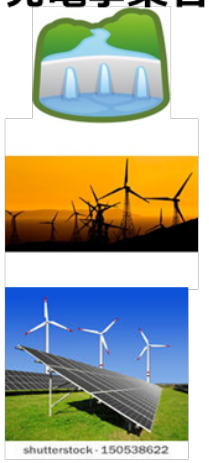
新電力事業者向けクラウドサービス

顧客・請求管理
料金計算

需給管理

外部連携

発電事業者



電源調達

電力取引

需給計画提出

日本卸電力
取引所

広域的運営
推進機関

サービス提供

電力小売事業者

小売契約

個人需要家

個人需要家

法人需要家

法人需要家

4. セグメント別の状況

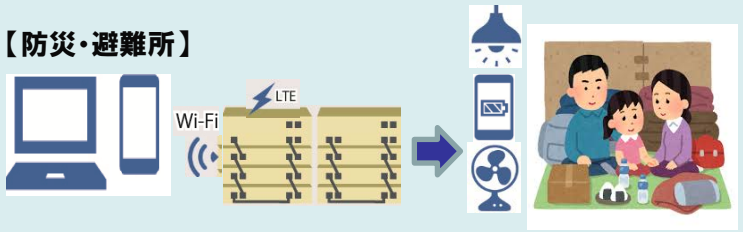
＜参考＞ サバイバル電源

リチウムイオンバッテリーを持ち運び可能なサイズにユニット分割「世界初」ポータブル大容量バッテリシステム

3月販売開始

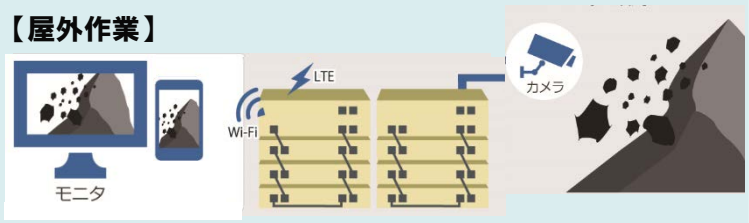
多岐にわたる活用シーン

【防災・避難所】



静粛・無排ガスのため、避難所での避難者の休息や睡眠を妨げません。

【屋外作業】



車の入り込めない現場において、人手で運搬できるサバイバル電源を活用！

5つの特徴

①ユニット分割できる可搬型

②ポータブルで屋外利用可（防塵・防水）

③気象情報からバックアップ時間の最大化

④LTEとWi-Fiを搭載

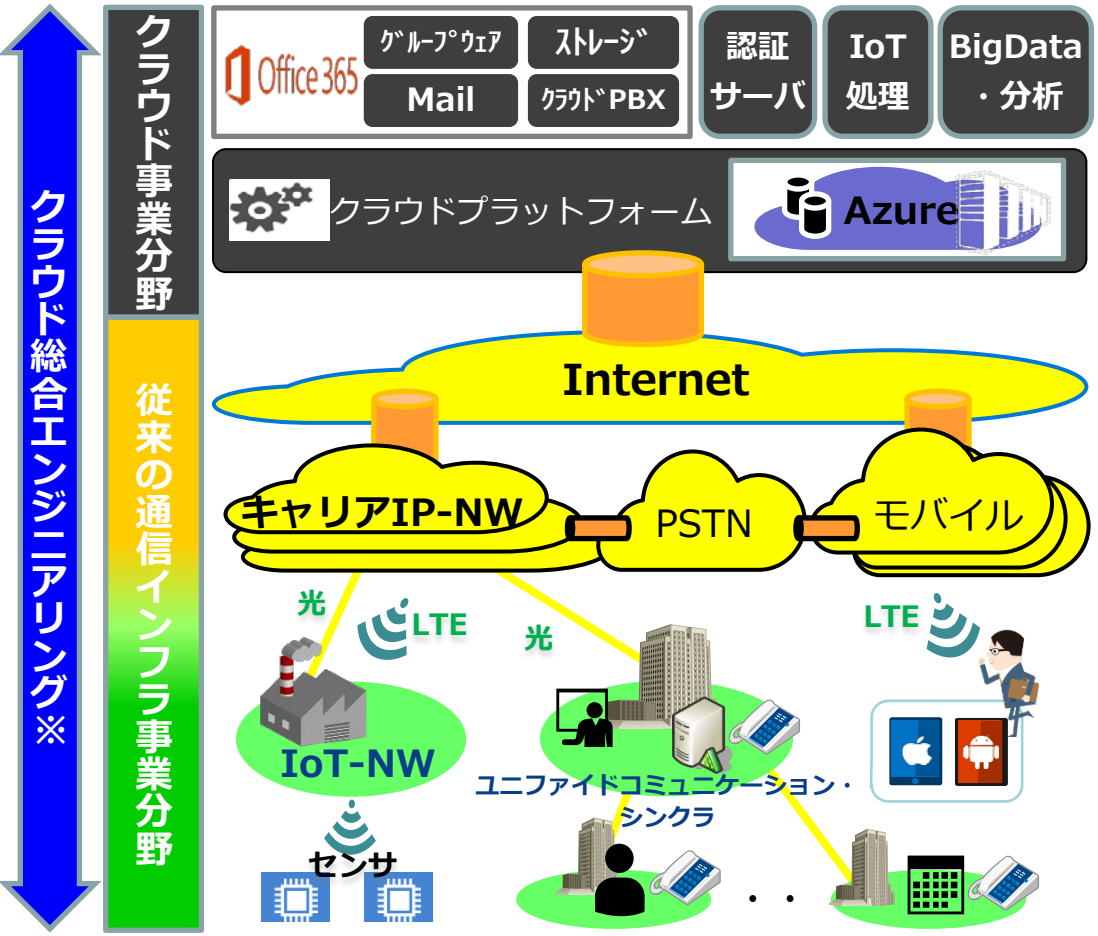
⑤残量監視アラート機能

運搬時イメージ

4. セグメント別の状況

＜参考＞ クラウド総合エンジニアリング

通信インフラ事業とクラウド技術を組み合わせた「クラウド総合エンジニアリング」※分野を強化



①**日本マイクロソフト社と提携**
②マイクロソフトのクラウド技術者を2018年までに2,000名育成
③マイクロソフトのクラウドを利用する顧客に対し、クラウドからＮＷ構築まで一貫したサービスとして提供

（主な分野）
- Office365を活用したお客様システムの構築・運用
- マイクロソフト社提供のIoT Suite（高度なビッグデータ分析等）を活用したセンサネットワークの構築・運用
- マイクロソフト社のクラウドサービスと連携したシンクライアント・仮想化環境の構築・運用

※クラウド総合エンジニアリング…クラウド技術・サービスと連携したネットワーク・システムエンジニアリング

4. セグメント別の状況

＜参考＞ G空間ビジネス本格展開

- 多言語対応の観光・防災一体型アプリ「EXTravel」を多数の自治体に提供中
- G空間分野で先進的な取り組みをしているWHERE社と一体的に取り組むことで事業化を加速、コアビジネスへの成長を目指す
- Beacon（どこにでも設置が可能な電波発信機）等を利用。各種実証実験に参画

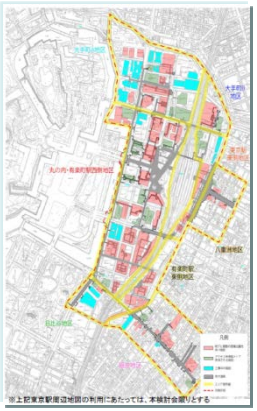
目的

2020年東京オリンピック･パラリンピック競技大会開催時に、訪日外国人を含む誰もがストレスを感じることなく円滑に移動・活動できるストレスフリーな社会を実現

サービスイメージ

国土交通省　高精度測位社会プロジェクト

東京駅周辺屋内外シームレス測位サービス実証実験



【事務局】
NTTデータ
【場所】
大手町/丸の内/有楽町の地下空間
【スケジュール】
2016年2月　実証実験（一般公開）
【担当業務】
屋内外測位デバイスのインフラ構築

実証実験アプリ＜ジャパンスマートナビ　トライアル版＞

平成28年2月上旬～3月上旬
東京駅周辺の概ね地下で繋がった範囲

測位エンジンは子会社化したWHERE社が開発

GooglePlay

Android Ver4.3以上の
Bluetooth4.0LE対応端末

※国土交通省高精度測位社会プロジェクト資料より引用

4. セグメント別の状況

＜参考＞ EXTravelの提供状況

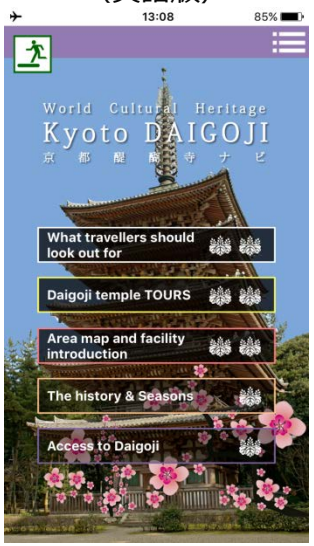
- 2014年に提供を開始した、多言語対応観光・防災一体型アプリ『EXTravel』は日光市を皮切りに、京都醍醐寺、海老名市、藤沢市、笛吹市の公式アプリとして提供中（2015年度中に、深谷市、高野町、東広島市への提供を開始予定）
- この他、WHERE社独自に、おもてナビ（10自治体）や、独自の観光防災アプリ（7自治体）を提供中

EXTravel等のアプリ提供状況

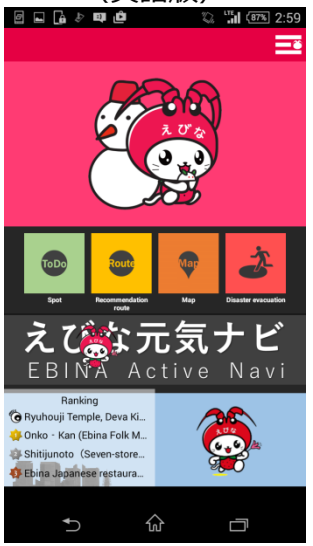
EXTravel（EXEO）	日光市、京都醍醐寺、海老名市、藤沢市、笛吹市　（５自治体等） 今年度中提供予定：深谷市、高野町、東広島市（3自治体）
おもてナビ（WHERE）	秋田市、北秋田市、仙北市、郡山市、渋川市、港区、台東区、墨田区、長野市、伊根町（10自治体）
観光アプリ（WHERE）	御殿場市、台東/墨田区、港区、伊香保町 水都大阪、堺市（7自治体）

日光街歩きナビ（英語版）

京都醍醐寺ナビ（英語版）

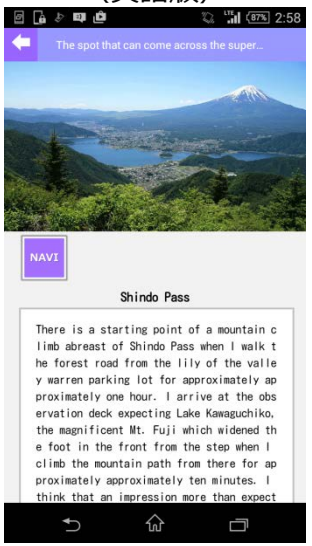


えびな元気ナビ（英語版）



ふじさわ街歩きナビ（英語版）

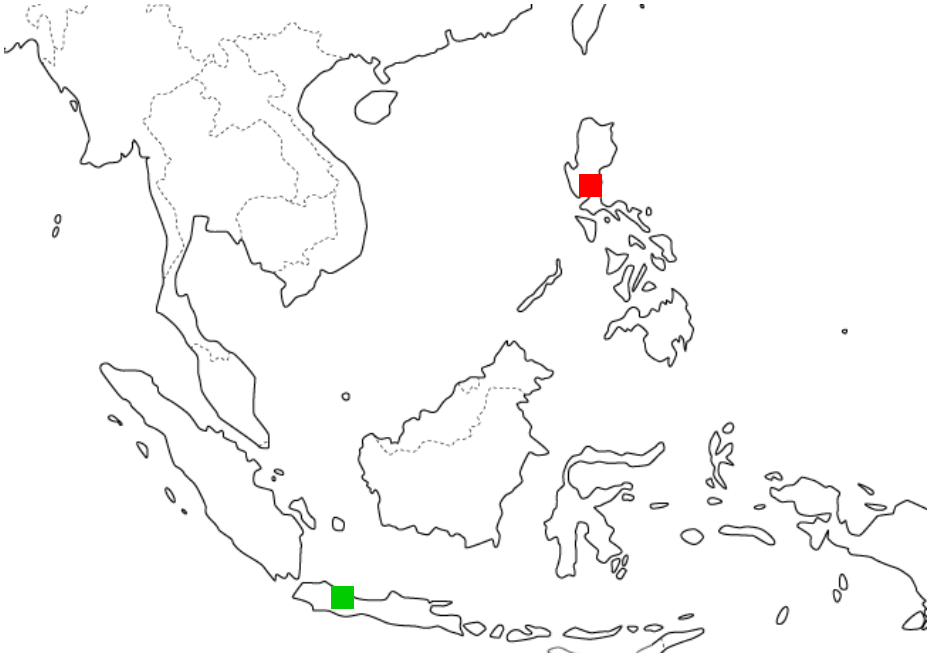
観光ふえふきナビ（英語版）



災害発生時にはアラートをpush配信。ワンタッチで避難支援画面に遷移（多言語対応）

4. セグメント別の状況

＜参考＞ グローバルの取組み



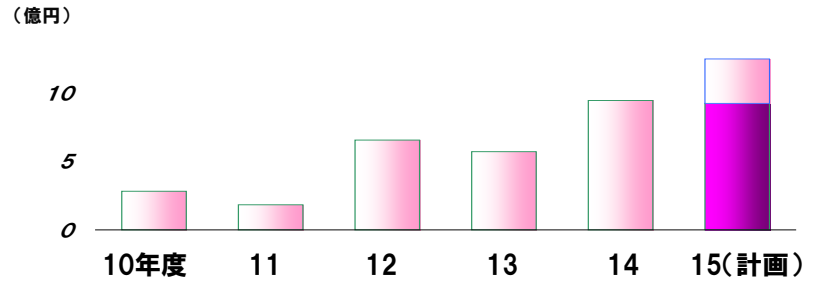
＜フィリピン国内＞

マニラ近郊2州のサービス総合工事
年間6億×3年（2014.5～2017.4）

PLDTよりFTTH工事受注（1.7億円）
SMARTより光アクセス工事受注（0.6億円）
NTTドコモより携帯電波調査受注（ 0.6億円）

- フィリピン国内空港ICT構築
- 地上デジタル工事（日本方式採用）
- サービス総合工事エリア拡大
- ICT事業の立ち上げ

■ MGエクシオの売上高推移



MGエクシオ（フィリピン）を拠点に東南アジアへ展開

- フィリピン国内で、ICT技術者育成 → アジア各国へ
- フィリピンでのグローバル人材育成
  （日本からの研修生派遣 2015.10～）

インドネシアにてFTTHプロジェクトトライアル実施（2015.10～11）

東南アジアODA案件をターゲット
- 空港ICT
- 工業団地ICT
- データセンタICT

補足資料

1. 連　結

（1）概　況

（単位：億円）

	15.3期（14年度）		16.3月期（15年度）				
			第3四半期累計期間			通　期	
	第3四半期累計期間 A	通　期 B	実　績 C	前期比 C/A	対通期計画進捗率 C/D	計　画 D	前期比 D/B
受　注　高	2,219	3,014	2,123	96%	68%	3,100	103%
売　上　高	1,962	3,009	1,714	87%	56%	3,050	101%
売上総利益	(12.1%) 237	(11.9%) 357	(12.1%) 207	87%	54%	(12.7%) 386	108%
販　管　費	(6.5%) 128	(5.8%) 173	(7.5%) 128	100%	73%	(5.8%) 176	101%
営業利益	(5.6%) 109	(6.1%) 183	(4.6%) 79	73%	38%	(6.9%) 210	114%
経常利益	(5.8%) 114	(6.2%) 185	(4.7%) 80	70%	38%	(6.9%) 210	113%
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	(3.8%) 74	(4.1%) 122	(2.8%) 48	65%	37%	(4.3%) 132	108%

（注）1. 億円未満の端数は切り捨てています。
　　2. （　）内は売上高に対する割合です。

1. 連 結

（2）受注高・売上高・次期繰越高

（単位：億円）

			15.3期（14年度）		16.3期（15年度）				
			第3四半期累計期間	通 期	第3四半期累計期間			通 期	
					実 績	前期比	対通期計画進捗率	計 画	前期比
			A	B	C	C/A	C/D	D	D/B
受注高	エンジニアリングソリューション	NTTグループ	1,185	1,603	1,222	103%	83%	1,480	92%
		マルチキャリア	522	676	383	73%	54%	710	105%
		環境・社会インフラ	289	415	239	83%	53%	450	108%
		小 計	1,996	2,696	1,846	92%	70%	2,640	98%
	システムソリューション		223	318	277	124%	60%	460	145%
	合 計		2,219	3,014	2,123	96%	68%	3,100	103%
売上高	エンジニアリングソリューション	NTTグループ	1,147	1,627	1,021	89%	68%	1,510	93%
		マルチキャリア	412	691	289	70%	41%	700	101%
		環境・社会インフラ	205	365	170	83%	39%	440	120%
		小 計	1,765	2,684	1,482	84%	56%	2,650	99%
	システムソリューション		197	325	232	117%	58%	400	123%
	合 計		1,962	3,009	1,714	87%	56%	3,050	101%
次期繰越高	エンジニアリングソリューション	NTTグループ	506	445	646	128%	-	-	-
		マルチキャリア	310	186	279	90%	-	-	-
		環境・社会インフラ	411	378	447	109%	-	-	-
		小 計	1,228	1,010	1,373	112%	-	-	-
	システムソリューション		65	44	89	136%	-	-	-
	合 計		1,294	1,054	1,463	113%	-	-	-

（注）億円未満の端数は切り捨てています。

（３）貸借対照表

（単位：億円）

		15.3期（14年度）				16.3期（15年度）		
		14.9月末		15.3月末		15.9月末		
			構成比率	A	構成比率	B	構成比率	B-A
流動資産		1,115	(59.0%)	1,388	(60.8%)	1,142	(55.8%)	▲ 245
固定資産		776	(41.0%)	896	(39.2%)	902	(44.2%)	6
資産合計		1,891	(100%)	2,284	(100%)	2,045	(100%)	▲ 239
負債	流動負債	407	(21.5%)	638	(27.9%)	419	(20.5%)	▲ 218
	固定負債	129	(6.9%)	178	(7.8%)	195	(9.5%)	16
負債合計		536	(28.4%)	816	(35.7%)	615	(30.1%)	▲ 201
自己資本		1,350	(71.4%)	1,462	(64.0%)	1,425	(69.7%)	▲ 37
少数株主持分・新株予約権		3	(0.2%)	4	(0.2%)	4	(0.2%)	▲ 0
負債純資産合計		1,891	(100%)	2,284	(100%)	2,045	(100%)	▲ 239

（注）億円未満の端数は切り捨てています。

（４）キャッシュ・フロー

（単位：億円）

	13.3期（12年度）	14.3期（13年度）	15.3期（14年度） 第2四半期累計期間	15.3期（14年度） 通期	16.3期（15年度） 第2四半期累計期間
営 業 ＣＦ	71	98	231	231	99
投 資 ＣＦ	▲ 21	▲ 74	▲ 13	▲ 28	▲ 33
財 務 ＣＦ	▲ 30	▲ 9	▲ 106	▲ 123	▲ 50
ＦＣＦ	49	24	217	203	66
現金及び現金同等物残高	146	162	273	242	258

（注）1. 億円未満の端数は切り捨てています。
2. FCF ＝ 営業CF ＋ 投資CF

（５）有利子負債

（単位：億円）

	13.3期（12年度）	14.3期（13年度）	15.3期（14年度） 第2四半期累計期間	15.3期（14年度） 通期	16.3期（15年度） 第2四半期累計期間
流 動 負 債	38	77	14	23	12
固 定 負 債	61	56	52	63	84
合　　計	99	133	66	86	96

（注）1. 億円未満の端数は切り捨てています。
2. リース債務を含んでいます。

(6)設備投資

(単位:億円)

	13.3期(12年度)	14.3期(13年度)	15.3期(14年度) 第2四半期累計期間	15.3期(14年度) 通期	16.3期(15年度) 第2四半期累計期間
有形固定資産	23	58	9	32	17
無形固定資産	10	14	2	10	5
合　計	33	73	12	42	22

(注)億円未満の端数は切り捨てています。

(7)減価償却費

(単位:億円)

	13.3期(12年度)	14.3期(13年度)	15.3期(14年度) 第2四半期累計期間	15.3期(14年度) 通期	16.3期(15年度) 第2四半期累計期間
減価償却費	23	22	12	26	14

(注)億円未満の端数は切り捨てています。

（8）主要子会社業績概況（各社単独）

（単位：億円）

	エクシオテック				大和電設工業			
	15.3期（14年度）		16.3期（15年度）		15.3期（14年度）		16.3期（15年度）	
	第3四半期累計期間 A	通期 B	第3四半期累計期間 C	前期比 C/A	第3四半期累計期間 D	通期 E	第3四半期累計期間 F	前期比 F/D
受注高	260	345	202	78%	87	120	92	107%
売上高	218	343	169	78%	73	118	69	94%
売上総利益	(6.2%) 13	(7.2%) 24	(6.6%) 11	82%	(9.0%) 6	(10.5%) 12	(9.4%) 6	98%
販管費	(7.1%) 15	(6.1%) 20	(7.1%) 12	77%	(7.5%) 5	(6.3%) 7	(7.5%) 5	94%
営業利益	(▲1.0%) ▲ 2.0	(1.1%) 3.7	(▲0.5%) ▲ 0.9	-	(1.5%) 1.0	(4.3%) 5.0	(1.9%) 1.3	123%
経常利益	(▲0.6%) ▲ 1.2	(1.2%) 4.1	(▲0.7%) ▲ 1.2	-	(2.5%) 1.8	(5.0%) 5.8	(2.2%) 1.5	84%
四半期（当期）純利益	(▲0.4%) ▲ 0.8	(0.8%) 2.8	(▲1.4%) ▲ 2.3	-	(1.5%) 1.1	(3.0%) 3.5	(1.5%) 1.0	94%

（注）1. 億円未満（一部は千万円未満）の端数は切り捨てています。
2. （　）内は売上高に対する割合です。
3. 和興エンジニアリングと池野通建は2015年7月1日に合併しエクシオテックとなりました。15.3期（14年度）の数値は2社単純合算数値です。
また、2015年8月26日付でグループ内施工エリア見直しを行い東関東（茨城・千葉）エリアの施工会社をエクシオテックから協和エクシオに変更しました。

2. 単　独

（1）概　況

（単位：億円）

	15.3期（14年度）		16.3期（15年度）				
			第3四半期累計期間			通　期	
	第3四半期累計期間 A	通　期 B	実　績 C	前期比 C/A	対通期計画進捗率 C/D	計　画 D	前期比 D/B
受　注　高	1,741	2,362	1,668	96%	69%	2,430	103%
売　上　高	1,573	2,366	1,335	85%	56%	2,400	101%
売上総利益	(9.4%) 148	(9.0%) 213	(9.3%) 124	84%	51%	(10.1%) 243	114%
販　管　費	(5.4%) 85	(4.8%) 113	(6.3%) 84	98%	75%	(4.7%) 113	100%
営　業　利　益	(4.0%) 62	(4.2%) 100	(3.0%) 40	65%	31%	(5.4%) 130	130%
経　常　利　益	(4.7%) 73	(4.6%) 109	(5.0%) 67	91%	48%	(5.8%) 140	128%
四半期（当期）純利益	(6.9%) 107	(5.6%) 132	(3.9%) 51	48%	55%	(3.9%) 94	71%

（注）1. 億円未満の端数は切り捨てています。
　　2. （　）内は売上高に対する割合です。

（2）受注高・売上高・次期繰越高

（単位：億円）

				15.3期（14年度）		16.3期（15年度）				
				第3四半期累計期間	通 期	第3四半期累計期間			通 期	
						実 績	前期比	対通期計画進捗率	計 画	前期比
				A	B	C	C/A	C/D	D	D/B
受注高	エンジニアリングソリューション	NTTグループ	アクセス	398	569	444	111%	84%	530	93%
			ネットワーク	140	206	168	120%	99%	170	82%
			モバイル	386	478	398	103%	85%	470	98%
			小 計	926	1,254	1,010	109%	86%	1,170	93%
		マルチキャリア		447	581	324	72%	52%	620	107%
		環境・社会インフラ		217	323	172	79%	49%	350	108%
		小 計		1,591	2,159	1,507	95%	70%	2,140	99%
	システムソリューション			150	202	161	108%	56%	290	143%
	合 計			1,741	2,362	1,668	96%	69%	2,430	103%
売上高	エンジニアリングソリューション	NTTグループ	アクセス	374	551	397	106%	72%	550	100%
			ネットワーク	164	224	125	76%	70%	180	80%
			モバイル	367	496	314	86%	67%	470	95%
			小 計	906	1,272	838	92%	70%	1,200	94%
		マルチキャリア		375	610	249	66%	41%	610	100%
		環境・社会インフラ		161	281	122	75%	35%	350	124%
		小 計		1,444	2,164	1,209	84%	56%	2,160	100%
	システムソリューション			129	202	125	97%	52%	240	119%
	合 計			1,573	2,366	1,335	85%	56%	2,400	101%
次期繰越高	エンジニアリングソリューション	NTTグループ	アクセス	144	139	185	128%	－	－	－
			ネットワーク	52	58	101	192%	－	－	－
			モバイル	229	191	275	120%	－	－	－
			小 計	427	389	562	132%	－	－	－
		マルチキャリア		248	147	222	89%	－	－	－
		環境・社会インフラ		361	348	397	110%	－	－	－
		小 計		1,037	885	1,182	114%	－	－	－
	システムソリューション			50	30	65	131%	－	－	－
	合 計			1,088	915	1,248	115%	－	－	－

（注）億円未満の端数は切り捨てています。

見通しに関する注記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【お問合せ先】
経営企画部　IR担当
河野　・　大高
ＴＥＬ：03-5778-1073
ＵＲＬ：http://www.exeo.co.jp

※当社ホームページに各種IR資料を掲載
しております。ご利用ください。